

イベントホールトイレ改修工事設計委託

令和 7 年 3 月

発注者 戸田ボートレース企業団

設計者

図面リスト							
建築工事				電気設備工事		機械設備工事	
NO	図面名称	NO	図面名称	NO	図面名称	NO	図面名称
A-00	表紙	A-21	断面詳細図、平面詳細図 (7) 女子シャワールーム	E-01	電気工事 特記仕様書	P-01	機械設備 特記仕様書
A-01	図面リスト	A-22	展開図(1) 誰でもトイレ	E-02	電灯・動力盤単結図 照明器具姿図	P-02	衛生設備 機器表
A-02	建築改修工事特記仕様書 (1)	A-23	展開図(2) 男子トイレ 男子シャワールーム	E-03	幹線・動力設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-03	衛生設備 1階平面図
A-03	建築改修工事特記仕様書 (2)	A-24	展開図(3) 女子トイレ 女子シャワールーム	E-04	電灯設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-04	衛生設備(給水 給湯) 1階トイレ平面詳細図
A-04	建築改修工事特記仕様書 (3)	A-25	展開図(4) 脱衣室(1)、(2)、(3)	E-05	コンセント設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-05	衛生設備(雑排水) 1階トイレ平面詳細図
A-05	建築改修工事特記仕様書 (4)	A-26	展開図(5) 脱衣室(4)、(5)、(6)	E-06	放送設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-06	衛生設備(排水 通気) 1階トイレ平面詳細図
A-06	建築改修工事特記仕様書 (5)	A-27	展開図(6) WC-1、WC-2、WC-3	E-07	誘導支援設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-07	衛生設備 1階トイレ撤去図
A-07	建築改修工事特記仕様書 (6)	A-28	展開図(7) WC-4、WC-5、WC-6	E-08	誘導支援設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-08	スプリンクラー設備 1階トイレ平面詳細図
A-08	建築改修工事特記仕様書 (7)	A-29	天井伏せ図	E-09	自火報設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-09	空調設備 1階平面図
A-09	付近見取図	A-30	建具リスト			P-10	換気設備 1階トイレ平面詳細図
A-10	配置図	A-31	サイン計画			P-11	換気設備 1階トイレ撤去図
A-11	現況図	A-32	躯体解体図			P-12	アイソメ図
A-12	工事範囲図	A-33	仮設計画(参考図)				
A-13	設計概要						
A-14	平面詳細図						
A-15	断面詳細図、平面詳細図 (1) 男子トイレ(1)						
A-16	断面詳細図、平面詳細図 (2) 男子トイレ(2)						
A-17	断面詳細図、平面詳細図 (3) 男子シャワールーム						
A-18	断面詳細図、平面詳細図 (4) 男子トイレ WC-1、WC-2、WC-3						
A-19	断面詳細図、平面詳細図 (5) 車椅子用トイレ 1, 2						
A-20	断面詳細図、平面詳細図 (6) 女子トイレ						

I. 工事概要

工 事 名 称	イベントホールトイレ改修工事					
工 事 場 所	埼玉県戸田市戸田公園8-22					
敷 地 面 積						
都 市 計 画	・都市計画区域内 <input type="radio"/> 都市計画区域外 ・市街化区域 <input type="radio"/> 市街化調整区域 ・区域区分非設定					
用 途 地 域	指定なし					
防 火 地 域	・防火地域 ・準防火地域 <input checked="" type="radio"/> 指定無し					
その他の地域・地区						
工事種目（様別）	構 造	階数	建築面積 m ²	延べ面積 m ²	摘 要	
工 事 内 容	本工事	1階トイレ改修工事 仮設・建築・電気設備・機械設備・解体工事一式、並びに設計の主旨（性能・機能）を 遂行する為に必要な全ての工事				
	別途工事	別図工事区分表による別途工事				

1. 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房宮営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「改修仕様」という。）により、また、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房宮営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）による。
2. 特記仕様
- (1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
- (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- (4) 特記事項に記載の（別- ）は、標仕の「別図 各部配筋」の当該項目又は当該表を示す。
- (5) 特記事項に記載の（別2- ）は、標仕の「別図2 ポルト間隔等及び溶接継手の開先形状」の当該項目を示す。
- (6) ⊕ 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。
3. 設計図の内容に明記がない場合、又は相違ある場合は、原則として係員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。
- (1) 現場説明書及び質疑回答書 (2) 特記仕様書 (3) 設計図 (4) 内訳明細書の記載項目
- (5) 改修標準仕様書、標準仕様書

- | 揮発性有機化合物 | 室内濃度指針値 |
|----------------|---|
| ホルムアルデヒド | 100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.08ppm) |
| トルエン | 260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppm) |
| キシレン | 870 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.20ppm) |
| パラジクロロベンゼン | 240 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm) |
| エチルベンゼン | 3800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.88ppm) |
| スチレン | 220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm) |
| アセトアルデヒド | 48 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.03ppm) |
| ※その他監督員の指示するもの | |

(注) 1 $1000 \mu\text{g}/\text{m}^3 = 1\text{mg}/\text{m}^3$ (重量濃度)
2 () 内の数値は重量濃度を気中濃度へ換算したもので、その換算は25℃の場合である。
ppmは百万分の1。

8. 解体工事に際しては、「建築物の解体工事における外壁の崩落等による公衆災害防止対策に関するガイドライン」(国土交通省)を遵守すること。

項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	<p>① 適用基準等</p> <p>○公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (平成28年版)</p> <p>○建築改修工事監理指針 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (平成28年版)</p> <p>○公共建築工事標準仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (平成28年版)</p> <p>○建築工事監理指針 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (平成28年版)</p> <p>○建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (平成28年版)</p> <p>・既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針、簡解説 建設省住宅局建築指導課・建設大臣官庁官庁営繕部監督課監修 日本道路協会</p> <p>・舗装再生便覧</p> <p>・防音施設周辺防音事業工事仕方書 防音施設庁施設部 (平成27年度)</p> <p>○工事写真の撮り方 (改訂第二版) 建築編 (国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修)</p> <p>○建築物解体工事共通仕様書 (国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修平成24年版)</p>
2 工事実績情報の登録 (請求代金500万円 以上の場合)	<p>※適用する (財)日本建設情報総合センターの工事実績情報サービス(CORINS)に登録する 内容について監督職員の確認を受けた後に、登録手続きを行うとともに 【工事カルテ受領書】の写しを監督職員に提出する</p>
3 石綿ばく露防止対策 等の実施内容の揭示	<p>※行う 基発安第0802001号「建築物等の解体等の作業を行うに当たっての石綿ばく露 防止対策等の実施内容の揭示について」に基づき看板を作成し市民の見やすい 場所に掲示する</p>

- | | | | |
|---|------------------|--|---------|
| 4 | <p>品質計画・施工計画</p> | <p>・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。</p> <p>※風速$V_0 = (34 -) \text{ m/s}$ (平1建告1454号第2)</p> <p>※地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ</p> <p>・積雪区分 建告示第1455号 別表 ()</p> <p>※詳細について、再度確認・検討すること</p> | (1.2.2) |
| | | <p>○総合施工計画書(総合仮設工事を含む)を提出すること</p> <p>○各工事毎の施工計画書</p> <p>○仮設工事 ・防水改修工事 ・外壁改修工事 ・建具改修工事</p> <p>○内装改修工事 ○塗装改修工事 ・耐震改修工事 ○解体工事</p> <p>・吹付け7777の除去及び封じ込め工事 ○その他監督員の指示するもの</p> | |
| 5 | 電気保安技術者 | <p>工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。</p> | (1.3.3) |
| 6 | 施工条件 | <p>下記以外は現場説明書による。</p> <p>・施工可能時間帯 ・時 ～ 時 ○監督職員と協議すること</p> <p>・部位別の施工順序 ・図示 ○監督職員と協議すること</p> <p>・工事車両の駐車場所 ・図示 ○監督職員と協議すること</p> <p>・資機材置場 ・図示 ○監督職員と協議すること</p> | (1.3.5) |
| 7 | 発生材の処理等 | <p>○特別管理産業廃棄物 無 ●有</p> <p>※工事着手前に特別管理産業廃棄物の有無について調査を行う。</p> <p>・吹付け7777 ・非飛散性7777 ・PCB ・GCA防蝕処理木材</p> <p>・7777 ・臭化7777 ・7777 7777</p> <p>・廃石棉 ・飛散性7777建材の処分方法 ()</p> <p>○処理方法については、監督職員との協議による。</p> <p>※解体工事等の作業に際しては、労働安全衛生法及びこれに基づく命令を遵守すること。</p> | (1.3.8) |

- ⑧ 特定建設資材の再資源化等 本工事は、建設工事に係わる資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等

- 及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
- 尚、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の計算条件を設定してが、工事請負契約書「建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律第13条に基づく書面」に定める事項は契約締結時・発注者と請負者の間で確認されたものであるため、発注者が「計算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。
- 但、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものではない事項については、この限りではない。又、請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設1974法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督機関に報告することとする。

- 1) 再資源化等が生じた年月日
- 2) 再資源化等をした施設の名称及び所在地
- 3) 再資源化等に要した費用

- 尚、書面は「リサイクル法」に基づく省令に定められた様式を基本として作成された様式1（再生資源利用計画書（実施書））及び様式2（再生資源利用促進計画書（実施書））を兼ねるものとする。但し、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

- | ④ 環境への配慮 | 化学物質を放散させる建築材料等 (1.4.1) |
|----------|--|
| | <p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 合板、木質系フローリング、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード[※]、その他の木質建築材、277脂蝋[※]、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒド[※]を放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド[※]及び277脂蝋[※]を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤は777脂蝋[※]・n-ブチル[※]及び777脂蝋[※]-2-エチルヘキシル[※]を含有しない難揮発性のしない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド[※]、トルエン[※]、エチルベンゼン[※]を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド[※]、トルエン[※]及びエチルベンゼン[※]を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (5) (1)、(3)及び(4)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド[※]を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 <p>また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド[※]の放散量」は、次のとおりとする。</p> |

- | 規制対象外 | 該当する材料 |
|---------------------------------------|--|
| ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 | |
| ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 | |
| ③下記表示のあるJAS規格品 | |
| a. 接着剤等不使用 | |
| b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 | |
| c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 | |
| d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 | |
| e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 | |
| f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 | |
| 第三種 | ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 |

- (10) 材料の品質等 (1.4.2)
- 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
- (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
 - (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

- | | | |
|-----------------|--|---------|
| ⑪ 特別な材料の工法 | 改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 | |
| 12 施工数量調査 | ・ 外壁改修
調査範囲 既存部分全面
調査項目 びび割れ部（幅0.2mm未満、0.2～1.0mm、1.0mm以上）
はがれ及びびはく落部、浮き部
調査方法 目視、打診、ミキサール等 足場 枠組 Gondola 高所作業車 ・ 脚立
報告書 監督職員に2部提出する。
(立面図等に記載 必要に応じて写真を添付する。) | (1.5.2) |
| ⑬ 調査のための破壊部分の補修 | 補修方法 現状復旧 ・ 図示 | (1.5.3) |
| ⑭ 技能士 | | (1.6.2) |

- | 通称工事種別 | 技能検定科目 |
|----------------------|---|
| 防水改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・7×7×6防水工事作業 ・9×9×9 6系塗膜防水工事作業 ・7×9×6 6系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ○シーリング 防水工事作業 ・改質7×7×6シート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ○左官作業 ○内外装板金作業 |
| 外壁改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業 |
| 建具改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ○ビニル用サッシ工事作業 ○木サッシ工事作業 ・自動ドア施工作業 |
| 内装改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ○7×9×9系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ○木床仕上げ工事作業 ○壁装作業 ○大工工事作業 ○鋼製地下工事作業 ○左官作業 ・タイル張り作業 |
| 塗装改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ○建築塗装作業 |
| 耐震改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業 ・構造物鉄工作業 ・とび作業 |
| コンクリートポン
・ALC 補工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートポン工事作業 ・ALC 補工事作業 |
| 石工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・石張り作業 |
| 植栽工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・造園工事作業 |

- ⑮ 化学物質の濃度測定 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、報告すること。基準値を超えた場合、その低減のための措置を講ずること。測定はパッパ型採取機器により行う。(1.6.9)

- 君工前の測定 来行わない 行つ
内装工事完了後の測定 〇行う 工事範囲内の全室。一室について一か所。
測定対象室 ・ 図示
測定箇所数 ・ 図示
測定物質

- ⑩ 契約図製本の作成 契約後直ちに設計図のA3版二つ折り縮小図製本を（５）部、及びA1版二つ折り製本を（１）部作成し、監督職員に提出すること

- ⑰ 軽微な変更 現場の納まり取り合わせ等の関係で材料、寸法、取付位置又は取付工法を多少変更し
或いはこれらによって取付員数を幾分増減する等の軽微な変更は監督員の指示によって
行う。この場合、請負金額の増減は行わない

- | | | | | |
|--------|-----------------|----|-----------------|----|
| ⑩ 提出書類 | ○工事着手届 | 2部 | ○実施工程表 | 2部 |
| | ○現場代理人通知書(経歴書付) | 2部 | ○下請負人通知書 | 2部 |
| | ○請負代金内訳明細書 | 2部 | ○工事工程月報 | 2部 |
| | ○週間工程表 | 2部 | ○工事日報 | 2部 |
| | ○材料検査簿 | 2部 | ○完成届出書 | 2部 |
| | ○引渡書 | 2部 | ○工事関係書類一式 | 2部 |
| | ○施工図(別契約も含む) | 2部 | ○その他監督職員が指示するもの | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

- | | | | | |
|------------|---|---|-----------|----------|
| ⑩ 完成時の提出図書 | ※完成図（竣工図）
・既存図面修正
※作成する（製本は、別途契約工事図を含む）
提出部数 | ※A3版縮小図原図 5部
※CADデータ、PDFデータ、AIデータ
※改修標仕表1.8.11による。ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。 | （1.8.1～3） | （表1.8.1） |
| | 種類 | | | |
| | ※施工計画書 | 提出部数 | ※5部 | 部 |
| | ※施工図 | 提出部数 | ※5部 | 部 |
| | ○保全に関する資料 | 提出部数 | ※5部 | 部 |

- ㊦ 完成写真
- 下記のもの写真帖に77枚以上監督職員に提出する。
- | 時期 | 撮影箇所 | 分類 | 規格 | 部数 | 備考 |
|----------------------|--------------|----|---------|-----|-----------------|
| 着工時 | 全景及び内外指定箇所 | | ※スリ+版 | 5 | スチール入り
77枚以上 |
| 工事中 | 各工事の所要及び隠蔽箇所 | ｶｰ | | | |
| 完成時 | 内外指定箇所 | | ※ｵｰﾍﾞﾙ版 | | |
| ※図又は果に報告するたの写真を：指定箇所 | | | | 部程度 | |
- 電子データは、RGB（7ｵﾋﾞｯﾄ）、JPEG形式で高画質とし、CD-Rに提出とする。
- 撮影業者 ※監督職員への承諾する撮影業者
（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

- ② 設備工事との取合い 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

- 22 設計GL ※図示

- ②③ 修復など 工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、原則として既存にならない修復すること。

- ②4 事故報告 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。

- ① 足場その他

内部足場 種別 ※脚立、足場板等 ○枠組足場 (2.2.1)
 外部足場 種別 ※A種・B種・C種・D種 (2.2.1) (表2.2.1)
 保護シート ※設置する ・設置しない
 材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ※B種・C種・D種・E種 (2.2.1) (表2.2.2)
 防音バツル、シートの設置 ○行う ・行わない

② 既存部分の養生

既存部分の養生 床：スラングシート+コンパ112 壁、ガラス：ビニールシート等
 天井：
 既存家具等の養生 ※ビニールシート等
 固定家具等の移動 ※行わない ○行う (図示)
 整理清掃、フカシ掛け ○行う ※行わない

③ 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種別 ※図示 (2.3.2) (表2.3.1)
 但し、監督職員との協議による

種別	下地	仕上材 (厚さmm)	充填材	塗装
○A種	※軽量鉄骨	○合板 (※9.0)	厚さ 50mm	※なし
○B種	・木下地	※化粧せうボード (※12.5)		・片面
○C種	・単管下地	防火シート		
仮設厚	※木製厚	※合板張り程度		※なし
	○鋼製厚	※片面フツツ程度		・あり

④ 監督職員事務所

※設ける (2.4.1)
 ○構内に新設する (規模及び仕上げの程度は現場説明書による)
 規模：協議による (打合せ室兼用でよい)
 ・既存建物内の一部を使用する
 ・設けない

⑤ 工事用水

構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (※有償・無償)

⑥ 工事用電力

構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (※有償・無償)

⑦ 仮囲い

成形鋼板等 ※図示による

- | | | |
|---|---------------------------------------|---|
| ① | 既存防水層の処理
客用トイレ改修に伴い
必要範囲の補修を行う | 既存保護層（平場）の撤去
○行う（範囲） ○図示 ・設備機器置場 （表3.2.3）
既存防水層（平場）の撤去
○行う（範囲） ○図示 ・設備機器置場 （表3.2.4）
立上り部の防水層撤去
・行う（・POS（機械）・POS I（機械）・M4S ・M4S I
・S4S（機械）・S4S I（機械）・PIX）
露出防水層表面仕上げ塗装等
・行う（・M4AS ・M4S I ・M4C ・M4D I ・L4X）
改修用ドレン
・設ける（・POAS ・POAS I ・POD ・POD I ・POS ・POS I ・POX） |
| | ② 既存下地の補修
客用トイレ改修に伴い
必要範囲の補修を行う | 77777補修の材料 ※JIS K 2207による3種
既存下地補修箇所、範囲、数量等 ※図示 ○必要に応じて
(3.3.2.3) (表3.1.1) (表3.3.3～表3.3.10) |
| | ③ 77777防水
客用トイレ改修に伴い
必要範囲の補修を行う | 防水改修工法の種類 新防水層の種類 施工箇所
例 PIR工法 Bm1 SBR工法 |
| | | |
| | | |
| | | |

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 護
防水 | ・P1B1工法 ・P1B1工法
・P2A1工法
・P2A工法 | ・B1-1 ※B1-2
・A1-1 ※A1-2
・A-1 ※A-2
・C-1 ※C-2 | |
| 露
出
防
水 | ・M4C工法
・M3D工法 ・POD工法
・POD1工法 ・M3D1工法
・M4D1工法 | ・D-1 ※D-2
・D1-1 ※D1-2 | |
| 屋
内
防
水 | ・P1E工法 ・P2E工法 | ・E-1 ※E-2
(保護層は図示による) | |
| 777777の種類の
M3D、POD、POD1、M3D1及びM4D1工法の脱気装置
断熱材の断熱材
※押出法※リフトフォームM3種又は層付き図
※押出法
立上り部の保護材
・式保護材
・れんが | ※3種 ・4種
※脱気
※断熱材
※厚さ (mm) ※25
※厚さ (mm)
※押出成形セメント板 (厚さ15mm)
※JIS R 1250によるもの
・市販品のれんが又は市販品のれんが形コンクリートブロック
(見え隠れ部分) | (3.2.2) (3.3.2)
(3.3.3)
(3.3.2)
(3.3.2)
(3.3.2)
(3.3.2) | |

- | 4 改質アスファルト防水 | | (3.4.2.3) | | (表3.1.1) (表3.4.1~3) | |
|------------------------------------|-------------------|------------|---------|---------------------|--|
| 防水改修工法の種類 | 新規防水層の種類 | 厚さ(mm) | 施 工 箇 所 | | |
| ・M4S工法 | ・AS-1 ・AS-2 ・AS-3 | | | | |
| ・M3AS工法 | ・AS-4 ・AS-5 ・AS-6 | | | | |
| ・POAS工法 | | | | | |
| ・M3ASⅠ工法 | ・ASⅠ-1 ・ASⅠ-2 | | | | |
| ・M4SⅠ工法 | | | | | |
| ・POASⅠ工法 | | | | | |
| M3ASⅠ、M4SⅠ及びPOASⅠ工法の防湿層 | | ・設ける ・設けない | | (表3.4.3) | |
| M3AS、POAS、M3ASⅠ、M4SⅠ及びPOASⅠ工法の脱気装置 | | ※設ける ・設けない | | (3.4.3) | |

- | | | | | | | |
|---|------------------------|--|---|------------------------|--|--------------------|
| 5 | 合成高分子系
M-Fing シート防水 | (3.5.2.3) | | | (表3.1.1) | (表3.5.1) |
| | | 防水改修工法の種類 | 新規防水層の種別 | 施工箇所 | 仕上塗料 | 使用分類 |
| | | ・POS工法
・S4S工法 | ・S-F1
・S-F2
・S-M1
・S-M2
・S-M3 | 大屋根 | ・シルバー
・カラー | ※非歩行
・歩行 |
| | | ・POS I 工法
・S4S I 工法 | ・S I -F1
・S I -F2
・S I -M1
・S I -M2
・S I -M3 | | | |
| | | ・S3S工法
・S3S I 工法
・M4S工法
・M4S I 工法 | ・S-F1
・S-F2
・S I -F1
・S I -F2
・S-M1
・S-M2
・S-M3
・S I -M1
・S I -M2
・S I -M3 | | | |
| | | 脱気装置
目地処理 | ・設ける
・設けない
PCコンクリートの場合 () | | | (3.5.3)
(3.5.4) |
| 6 | 塗膜防水 | (3.6.2.3) | | | (表3.1.1) | (表3.6.1) |
| | | 防水改修工法の種類 | 新規防水層の種別 | 施工箇所 | 備 考 | |
| | | ・POX工法
・PIX工法
・L4X工法
・新設 | ※X-1
・X-2
・X-1 ※X-2
・Y-1
※Y-2 (屋内防水) | 設備機器置場 (屋上)
浴室 床・腰壁 | 仕上塗料塗り
・シルバ - ・カラー
Y-2工法の保護シート
※適用 (なし) | |
| | | 脱気装置 | ※設ける (屋上)
・設けない | | | (3.6.3) |

訂正	年	月	日	備 考	作 成 R7.3.31	承 認	工事名称		設計NO	図面NO
	・	・	・				イベントホールトイレ改修工事設計委託			
	・	・	・	※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	発 行 ・			図面名称	縮 尺	整理NO
	・	・	・					建築工事特記仕様書(1)	-	

5

建具改修工事

1 改修工法

(5.1.3)

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	
・7&ミ&ミ製建具	・	・	・	※建具表による ・ 図示	
	・鋼製建具	・外部	・	※建具表による ・ 図示	
	・内部	・	・	※建具表による ・ 図示	
・鋼製軽量建具	・	・	・	※建具表による ・ 図示	
・ステンレス建具	・	・	・	※建具表による ・ 図示	

(5.1.5)

・適用する（適用箇所は建具表による）

(5.1.7)

4 7&ミ&ミ製建具

(5.2.2)（表5.2.1）

性能等級等

外部に面する建具 ※図示による

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所
・A種	S-4	・A-3	・W-4	・70	※ 図示
・B種	S-5	・A-4	・W-5	・図示	※ 図示
・C種	S-6	A-4	W-5	100	※ 図示

防音ド7&ミ、防音サツ

・適用する

遮音性の等級（ ）

断熱ド7&ミ、断熱サツ

・適用する

断熱性の等級（ ）

耐震ド7&ミ

・適用する

面内変形追随性の等級（ ）

(5.2.4)（表5.2.2）

表面処理

外部に面する建具

※B-1種 ・B-2種（・ブ7&ミ系 ・ブ7&ミ ・7&ミサツ）

屋内建具

※C-1種 ・C-2種（・ブ7&ミ系 ・ブ7&ミ ・7&ミサツ）

(5.2.3)

網戸

防虫網の材質 ※合成樹脂製 ・ガ7&ミ繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製（SUS316）

形式

※内外部可動式 ・固定式

5 鋼製建具

(5.3.2)（表5.3.1）

簡易気密型ド7&ミの適用は建具表による

(5.3.2)（表5.2.1）

外部に面する建具の耐風圧性の適用は7&ミ&ミ製建具に準ずる

(5.4.2)

簡易気密型ド7&ミの適用は建具表による

(5.3.2)（表5.3.1）

簡易気密型ド7&ミの適用は建具表による

(5.3.2)（表5.2.1）

外部に面する建具の耐風圧性の適用は7&ミ&ミ製建具に準ずる

(5.4.4)（表5.4.4）

表面仕上げ ※HL ・鏡面

(5.5.5)（表5.5.5）

曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ（補強あり）

6 木製建具

(16.6.2)（表16.6.3）

7&ミ&ミ戸の材料

合板の種類 接着の程度 ※1類 ・2類

板面の品質 ※1等、C-D ・図示

(16.6.2)（表16.6.2）

かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）

ふすまの上張り ※新鳥の子 ・ビニル紙程度 ・鳥の子

建物内部の木製建具に使用する表面材（合板）及び接着剤の&ミ&ミ放散量

※規制対象外 ・第三種

9 建具用金物

(5.6.4)（表5.6.4）

メッキ ※製作する ・製作しない

鍍金 ※市販品 ・製作

10 自動ドア開閉装置

(5.7.2、3)（表5.7.1～3）

※図示による

ドアの種類		センサーの種類	
※スライディングドア	・マツタイチ	※光線（反射）スイッチ	
種類	・SSLD-1・SSLD-2	・音波スイッチ	
	・DSDL-1・DSDL-2	・光電スイッチ	・電波スイッチ
・スイングドア	・タツタイチ	・押しボタンスイッチ	
種類	・SMD-1 ・SMD-2	・ペダルスイッチ	・多機能便所スイッチ

(5.7.3)（表5.7.3）

凍結防止措置 ※適用しない ・適用する

11 自閉式上吊り引戸装置

(5.8.2)（表5.8.1）

材料 ※SUS304、7&ミ&ミ製等防錆性能を有するもの

性能 ※改修標準仕様による

・製造標準仕様による

(5.8.3)（表5.8.1）

・製造標準仕様による

12 重量シャッター

(5.9.2)（表5.9.2）

※図示による

シャッターの種類	性 能
・一般重量シャッター	耐風圧性能（ 2,000 ）N/m2
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（ ）N/m2
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

(5.9.2)（表5.9.2）

開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式

危害防止機構 ※障害物感知装置（自動閉鎖型）

一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない

13 軽量シャッター

(5.9.2)（表5.10.1）

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）

5.10.3（表5.10.3）

※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

又はJIS G 3318（塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）

・鋼板

(5.10.4)（表5.10.4）

形状 ※インナーパネリング形 ・オーバerp&ミンパネリング形

ガイドレール等 ※鋼板製 ・SUS304（厚さ1.5mm）

(5.10.2)（表5.10.2）

耐風圧性能（ ）N/m2

(15.11.2、3)（表15.11.2、3）

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールパイプ	※バ7&ミ式	・スライディング形	※溶融亜鉛めっき鋼板
・7&ミ&ミパイプ	・チェーン式	・ローベッド形	・ステンレス鋼板（SUS304）
・ファイバーグラスパイプ	・電動式	・バ7&ミ形	
		・バ7&ミ形	

耐風圧性能（ ）N/m2

15

ガラス

6 改修範囲

(6.1.3)（表6.1.3）

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

○図示の範囲及び、解体に伴い当然復旧する範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

○図示の範囲及び、解体に伴い当然復旧する範囲

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修

※既存のまま

○図示の範囲及び、解体に伴い当然復旧する範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

(6.2.2)（表6.2.2）

ビニル床シート等の撤去 ※仕上材のみ（接着剤共）

・下地材共（※図示の範囲 ・除去範囲全て）

合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒らし工法

改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内及び影響範囲

3 既存壁の撤去並びに下地補修

(6.3.2)（表6.3.2）

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

※メッキ塗（塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない）

○図示

4 木材 図

(6.5.1)（表6.5.1）

表面仕上の程度 ・A種 ※B種 ・C種

(6.5.2)（表6.5.2）

現場搬入時の木材の含水率 ※A種 ・B種

保存処理木材 ・使用する（使用箇所： ）

構造材及び下地材の品質の基準 ※改修標準仕6.5.2.(a)(2)(iv)による

造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・B種

(6.5.2)（表6.5.2）

代用樹種を使用しない箇所（ 全て ）

(6.5.2)（表6.5.2）

5 集成材等 図

(6.5.2)（表6.5.2）

集成材及び単板積層材の&ミ&ミ放散量 ※規制対象外 ・第三種

(6.5.2)（表6.5.2）

・構造用集成材

施工箇所	品 名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種名	寸法 (mm)
			・1種	使用環境A		
			※2種	使用環境B		
			・3種	使用環境C		

(6.5.2)（表6.5.2）

・構造用単板積層材

施工箇所	接着性能	曲げ性能	樹種名	寸法 (mm)
	・使用環境1			
	・使用環境2			

(6.5.2)（表6.5.2）

・造作用集成材

施工箇所	樹種名	見付け材面の品質	寸法 (mm)
各室	※1等 ・2等	※図示	
	※1等 ・2等	※図示	

(6.5.2)（表6.5.2）

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	寸法 (mm)
				※1等 ・2等	

(6.5.2)（表6.5.2）

・単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法 (mm)
	※天然木化粧加工	・する	
	・塗装加工	・しない	
	・化粧加工しない（・1等・2等・3等）		

(6.5.2)（表6.5.2）

合板の&ミ&ミ放散量 ※規制対象外 ・第三種

(6.5.2)（表6.5.2）

・普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	その他の処理
床	12	・針葉樹	※1類	広葉樹・1等	※2等	・する
		・シ	・2類	針葉樹※C-D		・しない
壁、天井	12	・針葉樹	※1類	広葉樹・1等	※2等	・する
		・シ	・2類	針葉樹※C-D		・しない

(6.5.2)（表6.5.2）

○構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理
床	○12.0 ・15.0	○7&ミ ・シ	・特類	・1級	※C-D	・する
			※1類	※2級		○しない
壁	○12.0	○7&ミ	○特類	※2級	※C-D	

(6.5.2)（表6.5.2）

○構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理
床	○12.0 ・15.0	○7&ミ ・シ	・特類	・1級	※C-D	・する
			※1類	※2級		○しない
壁	○12.0	○7&ミ	○特類	※2級	※C-D	

(6.5.2)（表6.5.2）

7

防腐・防蟻処理

8 接着剤

(内装改修工事全般)

(6.5.2)（表6.5.2）

防腐処理 ※行う（※改修標準仕6.5.2.(h)(3)による

・図示

(6.5.2)（表6.5.2）

防蟻処理 ・行う（※図示

・

(6.5.2)（表6.5.2）

防腐、防蟻処理の種類、品質

・表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

・加圧用防腐防蟻薬剤処理（・AQQ ・AAC

・

(6.5.2)（表6.5.2）

8 接着剤

(6.5.2)（表6.5.2）

（6.5.2）（6.8.2）（6.9.3）（6.11.5,6）（6.13.2）（6.14.2）（6.16.3）

壁紙施工用でん粉系接着剤、277樹脂、7&ミ樹脂、7&ミ樹脂、7&ミ樹脂、7&ミ樹脂（以下「7&ミ樹脂等」という）又は&ミ&ミ放散量

※規制対象外 ・第三種

※接着剤に含まれる可塑剤は、難燃性のものとする。

(6.6.2)（表6.6.1）

野縁等の種類

屋外（・19形 ※25形）

屋内（※19形 ・25形）

既存の埋込みシート

○使用する ・使用しない

(6.6.4)（表6.6.4）

あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ○行わない

(6.6.3、4)（表6.6.3、4）

屋外での軒天井、ビ7&ミ天井等

野縁受、吊りメッキ、シートの間隔及び周辺部からの距離 ※協議による

野縁の間隔 ※協議による

耐風圧性を考慮した補強 ※協議による

(6.6.4)（表6.6.4）

天井下地材における耐震性を考慮した補強（落下防止措置）

○行う（補強箇所 ※図示 補強方法 ※協議による）

(6.7.1)（表6.7.1）

メッキ、7&ミの種類

※改修標準仕6.7.1.1による

・図示

(6.7.1)（表6.7.1）

メッキの高さが5mを超える場合 ※図示

(6.8.2)（表6.8.2）

ビニル床シート及びビニル床材の特殊機能

帯電防止 ○帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満

又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10⁷～10¹⁰Ω程度

耐動荷重 JIS A 1454による。へこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、磨耗性試験、層間剥離試験（発泡層のあるビニル床シートのみ）及び7&ミ試験等の試験後、異常がないこと

(6.8.2)（表6.8.2）

・ビニル床シート 図

種 類	記号	施工箇所	色柄	厚さ (mm)	特殊機能
※発泡層のないもの	・NC	図示	※無地	○2.5	○帯電防止
	・NF		○7&ミ柄	○2.0	○耐動荷重
・発泡層のあるもの	・PF		※柄物	・	・帯電防止
	・DC		・無地	・	・耐動荷重

(6.8.3)（表6.8.3）

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ）

(6.8.2)（表6.8.2）

○ビニル床材張り 図

種 類	記号	施工箇所	色柄	寸法	厚さ (mm)	特殊機能
・コンポジットビニル床材（半硬質）	CT		※無地	・300×300	※2.0	・帯電防止
			・柄物	・450×450	・	・耐動荷重
・コンポジットビニル床材（軟質）	CTS		※無地	・300×300	※2.0	・帯電防止
			・柄物	・450×450	・	・耐動荷重
・純7&ミ	HT		※無地	・300×300	※2.0	・帯電防止
			・柄物	・450×450	・3.0	・耐動荷重
○置敷きビニル床材	HTL		※無地	・500×500	・4.0	○帯電防止
			・柄物	・	・	・耐動荷重

(6.8.2)（表6.8.2）

・ビニル幅木

材質 ※軟質 ・硬質

高さ (mm) ※60 ・75

厚さ (mm) ※2.0

(6.8.2)（表6.8.2）

・ゴム床材

色柄（ ）

厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0

寸法（ ）

(6.8.2)（表6.8.2）

・織じゅうたん

(6.9.3)（表6.9.1）

種別	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備 考
・A種	・カトバイル	・ワイドカトバイル	※無地	※人体帯電圧3KV以下	
・B種	・ループバイル	・ダブルループカトバイル	・柄物	・	
・C種	・カト、ループバイル併用	・7&ミカトバイル併用	（標準品）	・	

下敷き材 ※反毛7&ミ（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm

(6.9.3、4)（表6.9.2）

・ワイドカトバイル

バイル形状	バイル長 (mm)	工 法	帯電性	備 考
・カトバイル	※5～7	※全面接着工法	※人体帯電圧3KV以下	
・ループバイル	※4～6	・グリッド工法	・	
・レールバイル併用	※4			
・カト、ループ併用	・			

下敷き材 ※反毛7&ミ（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm

(6.9.3)（表6.9.3）

・ニードルカトバイル

厚さ (mm)

帯電性 ※人体帯電圧3KV以下

13

合成樹脂塗床

13 合成樹脂塗床

(6.10.2、3)（表6.10.1～7）

種 別

施工箇所

仕上げの種類

・弾性7&ミ塗床材

※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ

・7&ミ樹脂塗床材

樹脂塗床

※薄膜流し展べ仕上げ

・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑 ・防滑）

・樹脂7&ミ仕上げ（※平滑 ・防滑）

・防滑仕上げ

・特殊7&ミ塗床材

塗床 他

・（平滑）防滑仕上げ（立上り）平滑仕上げ

・耐熱7&ミ塗床材

耐熱 他

・（平滑）防滑仕上げ（立上り）平滑仕上げ

・複合弾性塗床材

・メッキ仕様による

(6.10.2)（表6.10.2）

7&ミ樹脂等を用いた塗料の&ミ&ミ放散量

※規制対象外 ・第三種

(6.11.2～6)（表6.11.1、2）

・単層7&ミ張り 図

種 類	樹種	厚さ (mm)	大きさ (mm)	工法	緩衝材
・7&ミ張り	・根太張用	※なら	※15	幅 ※75	・釘留め工法
・7&ミ張り	・直張用	・	・	長さ 500以上	・接着工法
・7&ミ張り	・直張用	※なら	※15	※303×303	・湿式工法
・7&ミ張り	・直張用	・なら	・8	・	・接着工法
・7&ミ張り	・直張用	・なら	・8	・	・接着工法

単層7&ミ張りの&ミ&ミ放散量 ※規制対象外 ・第三種

(6.11.2、3、5、6)（表6.11.3、4）

○天然木化粧複合7&ミ張り 図

種 類	樹種	種別又は大きさ (mm)	工法	防湿処理
・複合1種	・根太張用	※なら	・A種	・釘留め工法
・複合2種	・複合2種	・7&ミ白	・B種	・防湿処理を行う
・複合3種	・直張用	・B種	・B種	・
		厚さ 12	・接着工法	※合成樹脂発泡シート
		幅 75以上	・	・なし
		長さ 600以上	・	・なし

複合7&ミ張りの&ミ&ミ放散量 ※規制対象外 ・第三種

天龍木材株式会社（7&ミ、7&ミ（7&ミ）） 同等品以上

(6.11.7)（表6.11.7）

仕上げ塗装

・塗装品（ ）

・無塗装品（・塗装する 施工箇所： ）

15 畳敷き

(6.12.2)（表6.12.1）

下地の種類		畳の種類	
改修標準仕6.5.9.1による床組	・A種	※B種	・C種
・7&ミ7&ミ床下地	・A種	・B種	※C種
畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする			・D種（KT-Ⅲ）

(6.12.2)（表6.12.1）

16 7&ミ7&ミ床下地材

・A種（7&ミ7&ミのもの） 図

畳下地

厚さ (mm) ※40 ・65 ・80（不燃）

7&ミ7&ミ 類

厚さ (mm) ※80 ・95（不燃）

[illegible]

6
内装
改修
工事

⑪

せっこうボード、
その他のボード
及び合板張り

⑬

壁紙張り

19

モルタル塗り

20

床コンクリートの
直均し仕上げ

せっこうボード及びその他のボードの厚さ、規格等
(6.13.2) (表6.13.1)

種 類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等
○せっこうボード	GB-R	○9.5 (不燃) ○12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)
○ツグンガ'せっこうボード	GB-S	・9.5 (準不燃) ○12.5 (○不燃 ・準不燃)
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃) ・21.0 (不燃)
・化粧せっこうボード	GB-D	模様 (・柱目 ・板目) 専用下地材付き
・和室天井用		・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃)
・壁用		・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃)
・洋室天井用		・9.5 (・準不燃 ・不燃) ・12.5 (不燃)
・せっこうボード	GB-L	・7.0 ※9.5 (不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	※9.5 (不燃)
・普通硬質せっこうボード	GB-R-H	・9.5 (不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)
・ツグンガ'硬質石膏ボード	GB-S-H	・9.5 (不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)
・化粧硬質せっこうボード	GB-D-H	・9.5 (・準不燃 ・不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)
・吸放湿せっこうボード	GB-R-Hc GB-S-Hc GB-D-Hc	・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃) ・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃) ・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)
・吸音用孔あき石膏ボード	GB-P	(準不燃) ・9.5 ・12.5
・化粧せっこう吸音ボード	GB-PD	(準不燃) ・9.5 ・12.5
・特殊せっこう吸音ボード	GB-PS	(準不燃) ・9.5 ・12.5
○ケイ酸加アル板	○O.8FK ○A.1FK	・4 ・8 ・4 ○6 ・8
○凹凸化粧ボード	DR	・凹凸タイプ (※9 ・12) ・凹凸タイプ (※12 ・15)
・凹凸化粧吸音板 (軒天井用)	DR	※凹凸タイプ (※9 ・12) ・凹凸タイプ (※12 ・15)
・凹凸化粧吸音ボード1号	RW-B	・25 ・40 ・50 ・75 ・100
・グラスウール吸音ボード2号	GW-B	(グラスウール張り) ・24K ・32K ・40K ・25 ・50
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25
・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21
・普通木片セメント板	NF	・30
・ハードボード (素地)	HB	・未研磨板 (RW) ・研磨板 (RS) ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・ハードボード (化粧)	HB	・内装化粧板 (DI) ・外装化粧板 (DE) ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・ミディアムツグンガ'フライングボード	MDF	・素地MDF (RS) ・化粧MDF (・DV ・D0 ・DC) ・3 ・7 ・9 ・12
・インスレーションボード	A-1B	・A級二次加工品 (・天井仕上 ・内装仕上) ・9 ・12 ・15 ・18
・単板張り ハーフタイプボード	○G	・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS) ・10 ・12 ・15 ・18
・化粧 ハーフタイプボード	○G	・単板ハーフタイプ (DV) ・グラスウールハーフタイプ (DO) ・塗装 (DC) ・10 (難燃) ・12 (難燃)
・火山性ガラス質複層板		・密度による区分 ・A1 ・A2 ・B ・C ・ ・化粧加工による区分 ・F ・K1 ・K2 ・
○ガラス樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ ※1.2 ○3.0
・繊維混入石膏板		・6 (曲面用) ・8
・ワイヤメッシュボード		・6 ・8

ハーフタイプボード及びMDFのホルムデヒドの放散量 (6.13.2)
※規制対象外 ・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音性能材 (6.13.2)
※適用する ・適用しない
合板類の張付け ・A種 ※B種 (6.13.3) (表6.13.3)

施工箇所		壁紙の種類				防火性能	備考
		紙	繊維 (織物)	プラスチック (化学繊維)	その他	無機質	
※図示	・	○	○	・	・	○不燃・準不燃・難燃	AA
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

壁紙のホルムデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 (6.14.2)
下地調整 (6.14.3) (表7.2.4) (表7.2.5) (表7.2.7)
モルタル、グラサ方面 ・RA種 ※RB種 (施工箇所:)
コンクリート面 ・RA種 ※RB種 (施工箇所:)
せっこうボード面 ・RA種 ※RB種 (施工箇所: 全て)

防水剤 (防水モルタル塗の混入剤) (6.15.3)
防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。(JIS A 1404による試験)
混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水比
セメント重量 JIS R 5201の試験値 70%以上 95%以下 80%以下
の5%以下 において 始発 1時間以上 (294.0kPaの水圧を1時間かける)
終結 10時間以内
安定性、膨張性のひび割れ及びそりが無いこと。(JIS R 5201の試験値)
吸水調整材は、4章外装改修工事共通事項による。(6.15.3)
既製目地材 ※適用しない ・適用する (6.15.3)
床目地材 ○設ける (工法 ※押し目地 ・) (6.15.6)

下表以外は標準表6.2.4及び標準15.3.2による (表6.2.4) (15.3.1、2)

施工箇所	平たんさ (mm)	備 考
フリーフローティング (木枠構造) 範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
フリーフローティング (溝構造) 範囲	3mにつき7以下	

⑫

タイル張り

⑫

タイル張り

23

浴室天井材

24

フリーフローティング

25

可動間仕切り

26

移動間仕切り

⑫

トリプルガラス

28

階段滑り止め

29

手すり

30

黒板及び
ホワイトボード

タイルの種類 ※図示による (6.16.3)

施工箇所	形状寸法 (mm)	うわぐすり	吸水率	耐凍害性	役物	色	再生材	備考
外部床		・施釉 無釉	I II III	有 無	有 無	標準	特注	適用
	600×600	・	・	・	・	・	・	光触媒処理
○内部床		・	・	・	・	・	・	・
内壁		・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・

役物：標準的な曲がり (小口、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き ※行わない ・行う (※外壁タイル ・)
コンクリート素地の目荒らし工法 (高圧水洗) ・行う (6.16.5)
内装壁タイル張りの工法 ※壁タイル接着張り ・改良積上げ張り (6.16.5) (表6.16.5)

種類・形状寸法	施工箇所	備 考
磁器質		
陶器質		

・せっこう系 (施工箇所及び厚さ ※仕上表による ・図示 ・)
○セメント系 (施工箇所及び厚さ ※仕上表による ・図示 ・)

※市販品 ・製作

材 質	表面仕上げ	性 能	幅 (mm)	備 考
※7×12×6mm	※焼付塗装品	準不燃品	※200 ・100	製造所の仕様による。
・硬質塩化ビニル製	※塗装品		※300 ・200	

(20.2.2)

施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備 考
控室	・バネ構造法 ・溝構造法	300	・1.0 G ・0.6 G	・3,000N ○5,000N	○帯電防止シート ・タイル・ペイント	独立支柱 工法

耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーフローティングの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・性能は、標準19章による。
構成材の材質 ・7×12×6mm製 ・鋼製 ・ケイ酸加アル板
スラブ及びビニル製 ※製造所の仕様による ・図示
配線用取出しバネ
フリーフローティング全体面積に対する設置割合 ※20～30%
配線取出し開口 ※バネ1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 ・図示
空間調出出し (吸込み) バネ
※無し
・有り (※図定式 ・可変式 : 施工箇所 (※図示 ・)
コンクリート等の取付け対応 ※製造所の仕様による (コンクリート本体は別途設備工事)
セメント等の箇所数 ※図示
ローリングロード性能 ※適用する ・適用しない

※標準表による (20.2.3)

構造形式	バネ部の 総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スライド式 (スチール) 80 (7×12) 32	※鋼板 (※0.6・0.8) (・0.5)	※7×12×6mm製又は7×12×6mm樹脂焼付 (・なし)	・あり ()	・あり	

(20.2.4)

遮音性能	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ	・	※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)	・73	※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は18 壁紙張りによる。
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。

(20.2.5)

表面仕上げ材		脚 部	扉小口部
表面材の材質	形 状	材 質	形 状
・7×12×6mm樹脂系化粧板 (木目)	※鋼板	・7×12×6mm製	・標準
・ガラス系樹脂系化粧板	○支柱	・ステンレス製H=60	○R
・	・なし	・	○表面材と同材

(20.2.6)

材 種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラット
・ステンレス製 (SUS304)	・約35	※接着工法	※あり (※ビニル製 ・ステンレス製)
・ビニルタイプ入り	・	・埋込み工法	・なし

(20.2.7)

材 種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所
※集成材 (既存)	※フリーフローティング ・OS塗	・60・45・70	
・ステンレスタイプ	・HL		
・鋼製タイプ	・EP-G		
・木粉混入樹脂		○38 ・40	

※家具図による (20.2.8)

種 類	寸法 (mm)	色 彩	備 考
・黒板	※焼付け 図示	※緑 ・黒	※平面 ・曲面 ・スリッ付引分
・ホワイトボード	※焼付け 図示	※白	※平面 ・曲面 ・スリッ付引分
	※ほうろう		

⑬

表示

32

ブラインド

33

ローラースクリーン

34

カーテン

35

カーテンレール

36

ブラインドボックス
及びカーテンボックス

⑬

天井点検口

38

床点検口

39

防煙垂れ壁

40

視覚障害者用
床タイル
(誘導用及び
注意喚起用床材)

41

くつふきマット

42

流し台ユニット

⑬

洗面カウンター

⑬

収納家具

※図示による (20.2.10)

種 別	材 質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付け高さ	書 体
・衝突防止表示 (・前面・片面)	※ステンレス製 ・色付フィルム	※30φ	※市販品	※図示 ・現場指示	H=50程度
○窓名札	※7×12mm製 ・図示	※図示	※5	※図示	※打合せ
○タイルタイル				○現場指示	
・扉番号					
・階数表示					
・建物案内板	※7×12mm製	※図示	※5	※図示	
・各階案内板	・		・	・	

案内用図記号はJIS Z 8210による。

誘導標識、非常用進入口表示等 ※市販品

・既存再使用する (養生方法:) (2.3.1) (5.1.6)
・新設する (20.2.12)

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	施工箇所
※横型	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7×12×6mm合金製	※25	各室
・縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・7×12mmスラット ・クロススラット	・80 ・100	

防災性能 ※有り (20.2.13)

材 種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	施工箇所	備 考
※ガラス製	・電動式	・1級	・図示		防災性能
・綿	・スプリング式	・2級	・		・なし
・	・チェーン式	・3級			

・既存再使用する (養生方法:) (2.3.1) (5.1.6)
・新設する (20.2.14)

形 式	開閉装置	ひだの種類	施工箇所	備 考
・シングル	・片引き	・フランスひだ	仕上表による	
・ダブル	・引分け	・箱ひだ・つまひだ ・ブレンツヒだ・つまひだ		

・既存再使用する (養生方法:) (5.1.6)
・新設する (20.2.14)

材 種 ※7×12×6mm製 ・ステンレス製
形 式 ・片引き ・引分け (※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)
形 式 ・C形 ・D形 ・I形

・既存再使用する (養生方法:) (5.1.6)
・新設する (20.2.14)

・市販品 (7×12×6mm製 押出成形材)
溝幅×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80
表面処理 ※B-1 ・B-2 (※グラウンス系 ・グラウンス系・ステンレス)
・製作 (・木製 (120×80) ・)

材 種	寸 法	形 式	外 枠	内 枠
※7×12×6mm製	・450×450	○一一般形	・屋内外用	・縁縁タイプ
・ステンレス製	○600×600	○屋内外用	○目地タイプ	○目地タイプ
	・	・密閉形		

(20.2.14)

材 種	寸 法	形 式	備 考
※7×12×6mm製	・450×450	・一一般形	・屋内外用
・ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内外用
・鋼製	・	・結露防止形	・遮物用
・鋼鉄製	・		・充填用

・固定式

材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考
※網入り磨板ガラス	※6.8	※500	7×12mm製枠付き
・線入り磨板ガラス	・	・	
・不燃シート	・	・	

・可動式

種 類	材 質	高さ (mm)	備 考
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	タイプ・レベル ※図定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又は7×12mm製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型) (19.2.2)

施工箇所	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
	※塩化ビニル製 ・レジンコンクリート製	※300×300	※7.0 ・18
屋内			
屋外	※レジンコンクリート製 ○磁器又はセッ器質タイル	※300×300	※30 ○18

ブローカー・ブローカーはJIS T 9251による

材 種

材 種	受 枠	備 考
・塩化ビニル又はガラス製	・ステンレス鋼 (SUS304)	
・硬質7×12×6mm合金製	・硬質7×12×6mm合金	
・ステンレス鋼 (SUS304) 製	・	

(6.5.2) (6.13.2)

種 類	寸法 (L= mm)	適用内容	規格・品質等
○流し台	・1,200 ・1,500 ○図示	トラップ 付き	・優良住宅部品
・コンロ台	・600 ・750 ・図示	バックガード ※あり	・
・つり戸棚	・600 ・900 ・図示		
・水切り棚	・900 ・1200	ステンレス製 ※1段式	※市販品

サンエー工業㈱ ユニバーサル・システム

材 種 ○図示 ・7×12×6mm樹脂化粧板 (心材:集成材) ・人工大理石
奥行き (mm) ○図示 ・450 ・600

材 質 ※図示 (6.5.2) (6.13.2)
形状・寸法 ※図示
合板、集成材、MDF、ハーフタイプボード等のホルムデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

作 成 R7.3.31

承 認

工事名称 イベントホールトイレ改修工事設計委託

設計NO

図面NO A-05

発 行

図面名称 建築工事特記仕様書 (4)

整理NO

備考 ※諸資料指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。
※図面が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。

訂正

年月日

年月日

年月日

8-5
鉄骨工事

11
スラット
(頭付きスラット
JIS B 1198)

呼び名等
呼び名
呼び長さ (mm)
適用箇所
耐火被覆材の接着する面の塗装
・行う (※JIS K 5622 ・) ※行わない
種類等 ※図示
種別
耐火材
吹付け
耐火板張り
耐火材巻付け
・張りめり張り

分析による7ｽﾍﾞｽﾄ含有の調査
・行う (採取箇所 ※図示)
調査方法
材料名
調査方法 (1材当りの試料数)
分析結果については、監督職員に報告すること
報告書の様式
・ (社)日本作業環境測定協会発行「石綿分析結果報告書」

7ｽﾍﾞｽﾄ粉じん濃度測定
・行う (採取箇所 ※図示)
測定時期、場所及び測定点数
測定方法
JIS K 3850-1 (空気中の繊維状粒子測定-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法)による。
種類
※位相差顕微鏡法
試料採取方法を二分割し、一方を位相差顕微鏡法用として使用し、他方はその結果が高い場合 (10本/L以上) に行う位相差・分散顕微鏡法用
に保存しておく。
・位相差・分散顕微鏡法
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

マフリンフィルターの直径 (mm)
試料の吸引流量 (L/分)
試料の吸引時間 (分)
計数視野数
定量限界 (本/L)

測定記録項目
(1) 除去する7ｽﾍﾞｽﾄ含有建材の種類
(2) 測定店の位置の図面
(3) 測定日時、天候、気流
(4) 試料採取条件
(5) 標本作製方法
(6) 使用顕微鏡の種類 (開口数を含む)
(7) 計数条件 (HSEシステムIDの読取りエラー番号を含む)
(8) 繊維数濃度 (位相差顕微鏡法の場合は総繊維数濃度、位相差・分散顕微鏡法の場合は7ｽﾍﾞｽﾄ繊維数濃度)
(9) 定量限界
(10) その他

7ｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去 (ｲﾍﾞﾙ1)
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ※改修標仕9.1.3(b)(i)～(iv)による
除去した7ｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材等の処理
※密封処理 (二重袋梱包)
・セメント固化
除去対象範囲 ※図示
作業場の隔離 ・行う ・行わない
吹付け材については、事前調査の結果、7ｽﾍﾞｽﾄが含有されていないことが確認されています。(調査報告書あり)

2
外断熱改修工事

断熱材の種類
種類
発泡剤の種類等
厚さ (mm)
施工箇所
既存外壁の仕上材の撤去
・あり ・なし
下地の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様
通気層 ・あり (mm) ・なし
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記なき事項は、製造所の仕様による。
複層ｸﾞﾗｽの厚さ 建具表による
複層ｸﾞﾗｽの断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2
断熱材の種類
種類
発泡剤の種類等
厚さ (mm)
施工箇所
打込み工法
現場発泡工法
充填工法

5
屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料
・屋上緑化軽量システム
・芝及び地被類の種類等 ※図示
工法
かん水装置 ・設置する (工事区分は図示による)
既存保護層の撤去 ・行う
路床の構成及び厚さ
・遮断層 厚さ (mm) ※150
・凍上抑制層 厚さ (mm) ※150
・フィルター層 厚さ (mm) 車道部 ※150
歩道部 ※50
路床安定処理
※添加材料による安定処理
添加材料の種類
・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰 ()
・消石灰 ()
添加量 () kg/m3 (目標CBR ※5以上)
・ジオテキスタイル
単位面積質量 60kg/m2以上
厚さ (mm) 0.5～1.0
引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水係数 1.5×10cm/sec以上
盛土の種類
・A種 ※B種 ・C種 ・D種
・建設汚泥から再生した処理土
遮断層及び凍上抑制層の材料
・遮断層 ※川砂、海砂又良質な山砂
厚さは図示
・凍上抑制層 ※再生ｸﾞﾗｯﾌﾟ ・ｸﾞﾗｯﾌﾟ ・切込砂利 ・砂
厚さは図示

6
透水性ｱｽﾌﾙﾄ舗装改修工事

7ｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去 (ｲﾍﾞﾙ1)
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ※改修標仕9.1.3(b)(i)～(iv)による
除去した7ｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材等の処理
※密封処理 (二重袋梱包)
・セメント固化
除去対象範囲 ※図示
作業場の隔離 ・行う ・行わない
吹付け材については、事前調査の結果、7ｽﾍﾞｽﾄが含有されていないことが確認されています。(調査報告書あり)

9
環境配慮改修工事

① 7ｽﾍﾞｽﾄ含有建材の処理工事
分析による7ｽﾍﾞｽﾄ含有の調査
・行う (採取箇所 ※図示)
調査方法
材料名
調査方法 (1材当りの試料数)
分析結果については、監督職員に報告すること
報告書の様式
・ (社)日本作業環境測定協会発行「石綿分析結果報告書」

7ｽﾍﾞｽﾄ粉じん濃度測定
・行う (採取箇所 ※図示)
測定時期、場所及び測定点数
測定方法
JIS K 3850-1 (空気中の繊維状粒子測定-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法)による。
種類
※位相差顕微鏡法
試料採取方法を二分割し、一方を位相差顕微鏡法用として使用し、他方はその結果が高い場合 (10本/L以上) に行う位相差・分散顕微鏡法用
に保存しておく。
・位相差・分散顕微鏡法
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

マフリンフィルターの直径 (mm)
試料の吸引流量 (L/分)
試料の吸引時間 (分)
計数視野数
定量限界 (本/L)

測定記録項目
(1) 除去する7ｽﾍﾞｽﾄ含有建材の種類
(2) 測定店の位置の図面
(3) 測定日時、天候、気流
(4) 試料採取条件
(5) 標本作製方法
(6) 使用顕微鏡の種類 (開口数を含む)
(7) 計数条件 (HSEシステムIDの読取りエラー番号を含む)
(8) 繊維数濃度 (位相差顕微鏡法の場合は総繊維数濃度、位相差・分散顕微鏡法の場合は7ｽﾍﾞｽﾄ繊維数濃度)
(9) 定量限界
(10) その他

7ｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去 (ｲﾍﾞﾙ1)
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ※改修標仕9.1.3(b)(i)～(iv)による
除去した7ｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材等の処理
※密封処理 (二重袋梱包)
・セメント固化
除去対象範囲 ※図示
作業場の隔離 ・行う ・行わない
吹付け材については、事前調査の結果、7ｽﾍﾞｽﾄが含有されていないことが確認されています。(調査報告書あり)

7
PCB含有
シーリング材処分

断熱材の種類
種類
発泡剤の種類等
厚さ (mm)
施工箇所
既存外壁の仕上材の撤去
・あり ・なし
下地の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様
通気層 ・あり (mm) ・なし
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記なき事項は、製造所の仕様による。
複層ｸﾞﾗｽの厚さ 建具表による
複層ｸﾞﾗｽの断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・U3-2
断熱材の種類
種類
発泡剤の種類等
厚さ (mm)
施工箇所
打込み工法
現場発泡工法
充填工法

10
コンクリートブロック・ALCパネル工事

① ALCL板
② ALCL板
③ ALCL板
④ ALCL板
⑤ ALCL板
⑥ ALCL板
⑦ ALCL板
⑧ ALCL板
⑨ ALCL板
⑩ ALCL板
⑪ ALCL板
⑫ ALCL板
⑬ ALCL板
⑭ ALCL板
⑮ ALCL板
⑯ ALCL板
⑰ ALCL板
⑱ ALCL板
⑲ ALCL板
⑳ ALCL板
㉑ ALCL板
㉒ ALCL板
㉓ ALCL板
㉔ ALCL板
㉕ ALCL板
㉖ ALCL板
㉗ ALCL板
㉘ ALCL板
㉙ ALCL板
㉚ ALCL板
㉛ ALCL板
㉜ ALCL板
㉝ ALCL板
㉞ ALCL板
㉟ ALCL板
㊱ ALCL板
㊲ ALCL板
㊳ ALCL板
㊴ ALCL板
㊵ ALCL板
㊶ ALCL板
㊷ ALCL板
㊸ ALCL板
㊹ ALCL板
㊺ ALCL板
㊻ ALCL板
㊼ ALCL板
㊽ ALCL板
㊾ ALCL板
㊿ ALCL板

11
金属工事

① ステンレスの表面仕上げ
② 7ｽﾍﾞｽﾄ合金及び7ｽﾍﾞｽﾄ合金の表面処理
③ 鉄の亜鉛めっき
④ 金属成形板張り
⑤ 手すり及びｸﾞﾗｯﾌﾟ

12
舗装工事

発生土の処理 ※構外搬出適切処理
・構内指定場所に敷き均し
・構内指定場所に堆積
・構内指定場所に処分 (搬出調査等を監督職員に提出する)
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ※行う ・行わない
路床締固め度の試験 ※行う ・行わない
砂の粒度試験 ※行う ・行わない
路盤材料
・再生ｸﾞﾗｯﾌﾟ
・ｸﾞﾗｯﾌﾟ/鉄鋼ｽﾗｸﾞ
路盤の厚さ (mm) 車道部 ※150 ・図示
歩道部 ※100 ・図示
路盤の締固め度の試験 ※行う ・行わない
舗装材料及び厚さ
車道部 ※改質ｱｽﾌﾙﾄⅠ型 厚さ (mm) ※50
歩道部 ※ｽﾄｰﾄﾞｱｽﾌﾙﾄ 厚さ (mm) ※30
透水性ｱｽﾌﾙﾄ混合物の抽出試験 ※行う ・行わない
・第一次判定
現場にてﾀﾞﾌﾞﾙを採取し、ｼｰﾘﾝｸﾞ材種及びPCB含有分析の要否を判定する
採取箇所数 計 箇所
採取箇所 ※図示
・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う
分析箇所 計 箇所
・除去処理工事
除去範囲 ※図示
撤去方法 ・「標準施工要領書」(日本ｼｰﾘﾝｸﾞ工事協同組合連合会
日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会)による

13
植栽工事

1 樹木の植栽基盤整備
樹木
樹木の樹高 (m) 有効土層の厚さ (cm) 工法
・12以上 ※100 ※A種
・7以上～12未満 ※80 ※B種
・3以上～7未満 ※60 ※C種
・3未満 ※50 ※D種
工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。
2 植込み用土
※現場発生土の良質土 客土 (黒土・真砂土)
3 土壌改良材
※適用する
・ﾊﾞｰｸ堆肥 下水汚泥ﾌｵｰｽﾄ ｵｰｸﾏｲﾄ 牛糞活性堆肥
4 支柱材
※杉、ひのき又はから松 (皮はぎもの、間伐材) 腐腐処理方法 ※加圧式防腐処理
・真竹 (良質な2年生以上)
5 幹巻き用テープ
・わら及びこも
6 芝張り
種類 ※こらい芝 ・野芝
工法 ・目地張り ・べた張り

14
その他

解体による既存取り合い部分は既存同等材料で復旧のこと。
既存存置部分はクリーニングのこと。

訂正

年月日

備考
※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。
※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。

作成
R7.3.31

承認

工事名称
イベントホールトイレ改修工事設計委託

設計NO

図面NO
A-07

発行

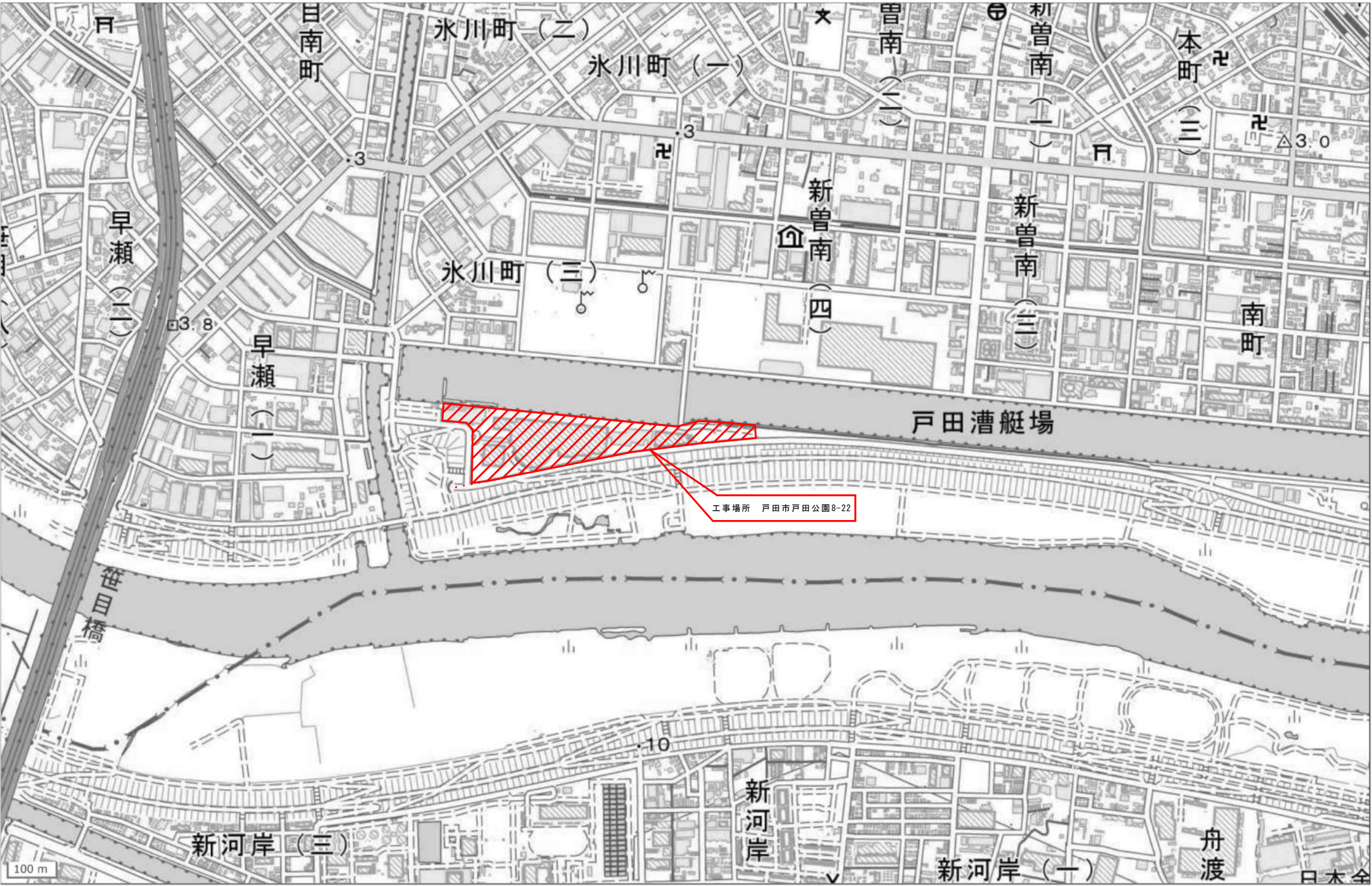
図面名称
建築改修工事特記仕様書 (6)

縮尺

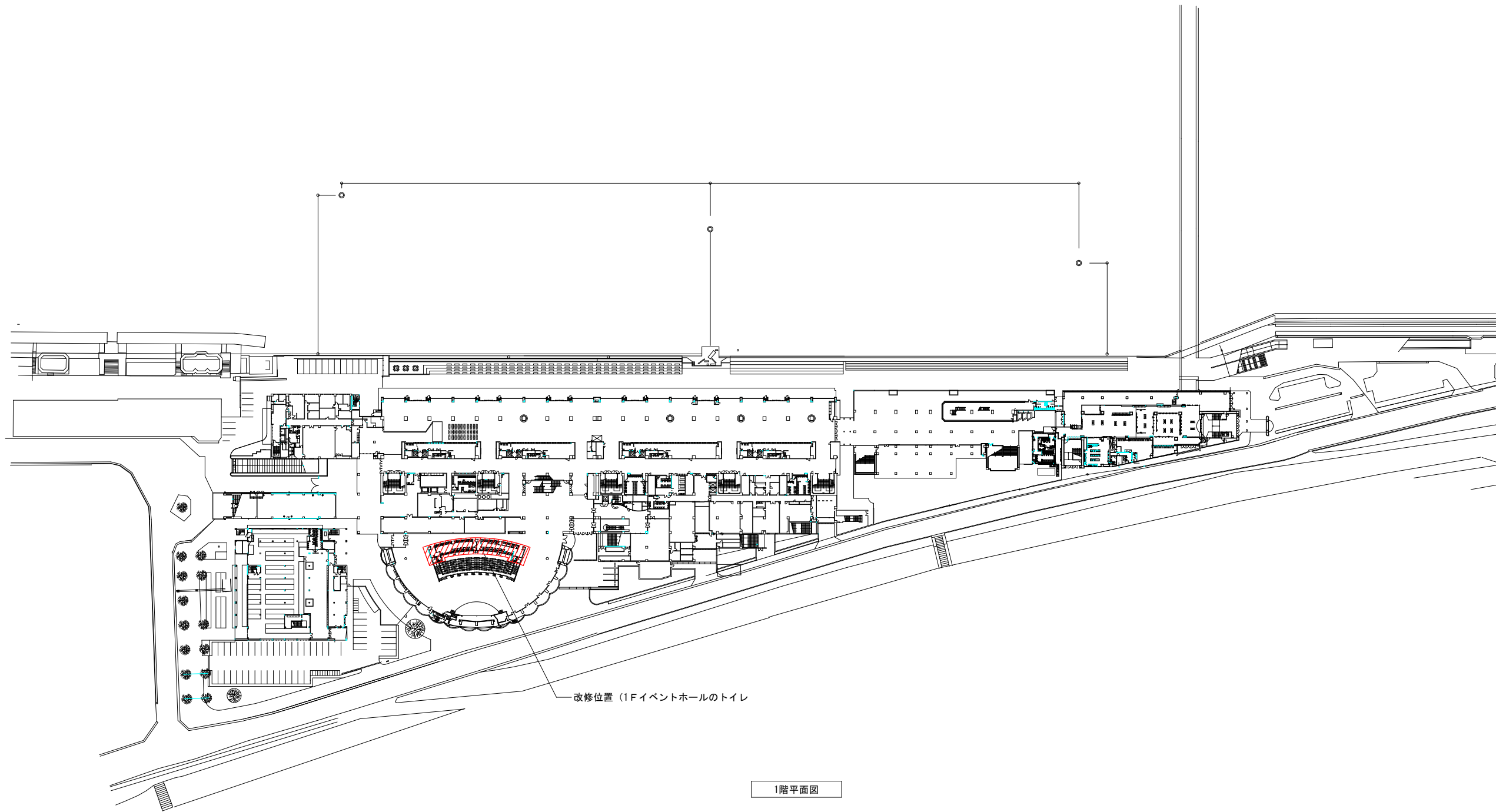
整理NO

工事仕様書				解体工事 特記仕様書					
1	施工条件	<p>請負人は戸田競艇施行組合（以下組合）が発注する建設工事において、次の事項を遵守しなければならない。</p> <p>1) 施工中においても競走開催を中止しないので、競走開催のための施設保持に万全を期するものとし仮設電気、仮設給排水工事等の処置を施すものとする。</p> <p>請負者の責任によりレース開催に支障を及ぼした場合は、請負者の補償となる為十分な保険等を付すること。</p> <p>2) 競走開催中及びその前日は大きい騒音・振動を発生する工事等は原則として行うことは出来ない。（研り、コンクリート打設工事 等）</p> <p>詳細については、組合と協議のうえ決定する。</p> <p>3) 材料の搬入搬出の日時並びに経路については、組合の指示をあらかじめ受けて実施するものとする。</p> <p>4) 工事用電力は原則として請負人負担による自家発電機又は仮設電力とする。</p> <p>5) 当該工事場所以外の出入りは原則として禁止する。当該工事の関連等でやむなく出入りしなければならない場合は、あらかじめ組合の承認を受けるものとする。</p> <p>6) 材料置場、現場事務所等の用地については、組合と協議の上、請負人に於いて確保すること。</p> <p>7) 夜間作業を行う場合はあらかじめ組合の承認を受けるものとし、作業時には火災防止等に万全を期すものとする。</p> <p>また場合によっては、専従の警備員を配備するなどの処置をとるものとする。</p> <p>8) 競走開催日は3カ月毎に正式決定される。決定され次第組合より連絡を受ける。</p> <p>9) 工事に関しては、監督職員より様々な指示を行うが、特に緊急事項について監督職員を経由しないで組合より直接請負者に指示がされる事があるが、その場合はその指示に従うこと。</p> <p>10) 設計図書等においてあらかじめ明示された以外の埋設物等が発見された場合は、請負人は独断で判断せず、組合及び監督職員の指示を受けるものとする。なお、場合によっては、工事着手前の状況から判断する場合があるので、請負人はあらかじめ工事着手前の現況写真を撮影しておくものとする。</p> <p>11) 仮設光熱費等</p> <p>a) 工事に使用する電力・用水・ガスは、請負者にて仮設引き込みをすること。競走場のものは一切使用しては成らない。</p> <p>b) 全工事（別途工事を含む）が工期内に完全引渡し完了することを考慮し、その日時にふさわしい日時を各請負者間に於いて協議し、監督職員や組合と打合せを行い決定する。</p> <p>使用料金（本工事に関する電力及用水使用料金）は、完成引渡し日まで請負者にて負担するものとする。</p> <p>なお、その料金の振分けについては、各請負者間で協議を行うこと。</p> <p>c) 詳細日程は、監督職員と協議し決定する。</p> <p>12) 別途工事・トーターシステム工事が行われるが、その機器装置及び配線の重要性を十分認識し、別途工事担当会社、トーターシステム工事担当会社とよく協議すると共に、各下請協力業者に協力を徹底させること。</p> <p>（機器移設に伴う1次側の建築補修は原則的に請負者負担とする）</p> <p>13) 完成引渡し日後、競走開催日に請負者及び監督職員の指示するメーカーに立ち会いをさせる。</p> <p>14) 工事着手時及び工事完成時に組合監督員から指示を受けた備品類の引越し品の指定場所への移動するものとする。</p>	<p>A. 作業上の注意事項</p> <p>1. 足場等の仮設については、労働安全規則に従い適正な組立てを行うこと。</p> <p>2. 作業時間は騒音振動規制法に従い、早朝、夜間の作業は行わないこと。</p> <p>また、開催中の作業については組合と協議のこと。</p> <p>3. 騒音、振動を伴う機械を使用する作業については、騒音振動規制法による届出をする他、現場監督員の指示に従い近隣等と迷惑がかからないよう必要な処置を行うこと。</p> <p>4. 作業上のほこり等の飛散を防止する為、解体時は散水等必要な処置を行う事。</p> <p>5. 強風時は仮囲い等の転倒、飛散のないように特に注意し、必要な処置を行う。</p> <p>6. 躯体上部解体時は作業場外へ解体物の落下、転倒のないよう必要な処置を行うこと。</p> <p>7. 夜間等の作業休止時においては、現場内への部外者の侵入がないよう必要な処置を行うこと。</p> <p>8. 一般公道への出入りにあたっては、車輛への付着物を確認し、必要に応じて車輪の清掃、並びに一般公道の清掃を行い、近隣の環境保全に努めること。</p> <p>9. その他騒音規制については諸官庁と協議を行うこと。</p> <p>B. 工事範囲</p> <p>1. 図面による。</p> <p>2. 解体跡地の整地は、良質土（根伐土）で軽圧を行い、必要な措置をとること。</p> <p>C. 提出書類</p> <p>1. 着工前</p> <p>工事実施工程表</p> <p>処分場許可証明書（写し）</p> <p>2. 工事終了後</p> <p>産業廃棄物処理伝票</p> <p>産業廃棄物処理証明書</p>						
2	工事使用材料	材料製品メーカーについては、記載するメーカー同等品以上とし、使用材料は原則として、材料承認願いを監督員に提出のうえ、承諾を得ること。							
3	業者組織表並びに現場員	着工に先立ち、本工事の責任体制を明示した組織表並びに現場担当者各員の経歴、資格、責任業務を明示した人員表を作成し、監督員の承諾を得る。							
4	他工事との調整	他工事との取り扱い、仮設施設の使用などに関して、当該工事関係者と密接に連絡をとり、工事に支障のないようにして、工事進行中に監督員より指示を受けた場合は、異議なく直ちに実施し、常に協力して各工事の進捗と完全な施工に努め、工事期間の紛争を未然に防ぐこと。							
5	一般事項	<p>建築材料等</p> <p>(1) 立会検査</p> <p>竣工後検査が不可能又は困難な工事は、施工に当たり監督員の立会を受けなければならない。</p> <p>また、必要に応じて写真を撮影する。</p> <p>(2) 材料試験</p> <p>諸材料について、官公署又はこれに準ずる会社等の検定等を要するものに合格したものを使用する。</p> <p>(3) 材料</p> <p>(a) 材料は仮設用及び特に記載されたもの以外、全て新品とし、監督員の検査を受け、合格したものを使用する。</p> <p>(b) 図面、または仕様書に記載してあるもの、及び監督員の指示するものの材料、工法、仕上の程度、色合い等は、あらかじめ見本板を提出して承諾を受ける。</p> <p>(c) 試験は監督員の承諾する試験所で行い、その成績書を提出して承諾を受ける。なお、官庁に提出するものについても同様とする。</p> <p>(d) 検査、または試験に要する費用は、全て請負者の負担とする。</p> <p>(e) 検査、または試験終了後、合格した機材は指定の場所に整頓保管し、不合格となった搬入材はただちに搬出し、速やかに代品を納入して工事の進捗に支障をおこさないようにする。</p>							
6	統括安全衛生管理業務者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。							
7	諸官庁への手続き	請負者は、本工事に関わる諸官庁への手続きの一切を行うこと。また、必要に応じ、組合や監督員の補助、協力を行うこと。							
		(例：建設リサイクル法、消防法（着工・設置届、防火対象物使用開始届、工事中の消防計画書他）、建築基準法（第90条の3工事中の安全計画書）、興行場法、ビル管法等）							
8	施工計画・報告	<p>1) 現場代理人は本工事の工期により各工事の進捗を考慮し、本工事の総合工程表を契約後20日以内に監督員に提出し、承諾を受ける。</p> <p>（別途工事の工程を考慮して、工程表に盛り込むこと）</p> <p>2) 月間工程は毎月初めに月間工程表を作成する。工数工作程度を考慮し、必要とする人員を書き込むものとする。</p> <p>3) 上記工程表の作成に当たって必要のある場合は、監督員の指示により、別途工事の現場代理人と協議する。</p>							
9	報告	<p>請負者は、下記の事項を報告書にまとめて、監督員に提出する。</p> <p>1) 工事日報・週報・月報・中間報告・最終総括報告</p> <p>2) 各種試験結果成績表</p> <p>3) 各工事施工結果成績表</p> <p>以上のほか、監督員が指示する事項は全て報告を行うものとする。また、報告形式その他については、監督員の指示による。</p>							
10	完成図・その他	<p>完成後、速やかに下記の完成図書を提出する。</p> <p>(1) 下記の図面（完成図書は、電子図でも納品する。（CAD、PDF） ※CADソフト等は協議による）</p> <p>(a) 完成図 1. 一般共通事項 №19 「完成時の提出図書」による。</p> <p>(b) 施工図 2つ折り製本 5 部 原因共</p> <p>(c) 取扱説明書、機器完成図（A4版ファイル） 5 部 （電子図でも納品する。（PDF等））</p> <p>(2) 完成引渡し書 5 部 （分冊可）</p> <p>引渡書、工事写真帳、完成写真帳、鍵類・予備品受領書（明細一覧表共）、施工者一覧表、機器完成図、各種試験成績表、保証書</p> <p>使用材料報告書、官公庁届出書（写し）、取扱説明書、保守指導書、その他監督員の指示する書類</p> <p>(3) 国土交通省提出用図書 5 部</p> <p>(4) 監督日誌（A4ファイル） 1 部</p> <p>(5) 材料検査書（A4ファイル） 1 部</p> <p>(6) 工事日報（A4ファイル） 1 部</p> <p>(7) 工事材料搬入報告書（A4ファイル） 1 部</p>							

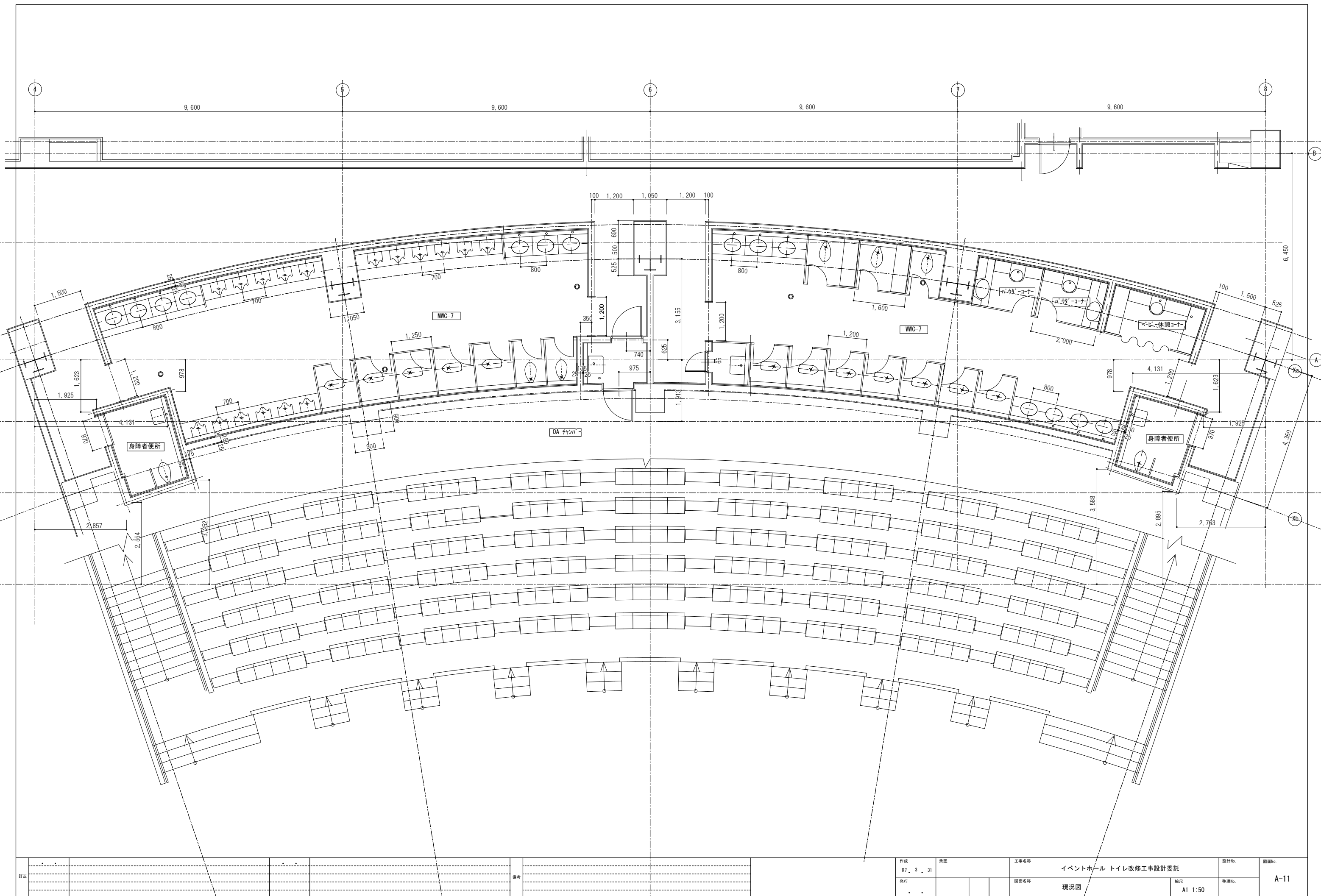
訂正	年	月	日	備 考	作 成 R7.3.31	承 認	工事名称 イベントホールトイレ改修工事設計委託	設計NO	図面NO A-08	
	発 行	図面名称 縮 尺	整理NO							
	・									・
	・									
※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。										
※現状が図面の内容と異なる場合は現状を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。										

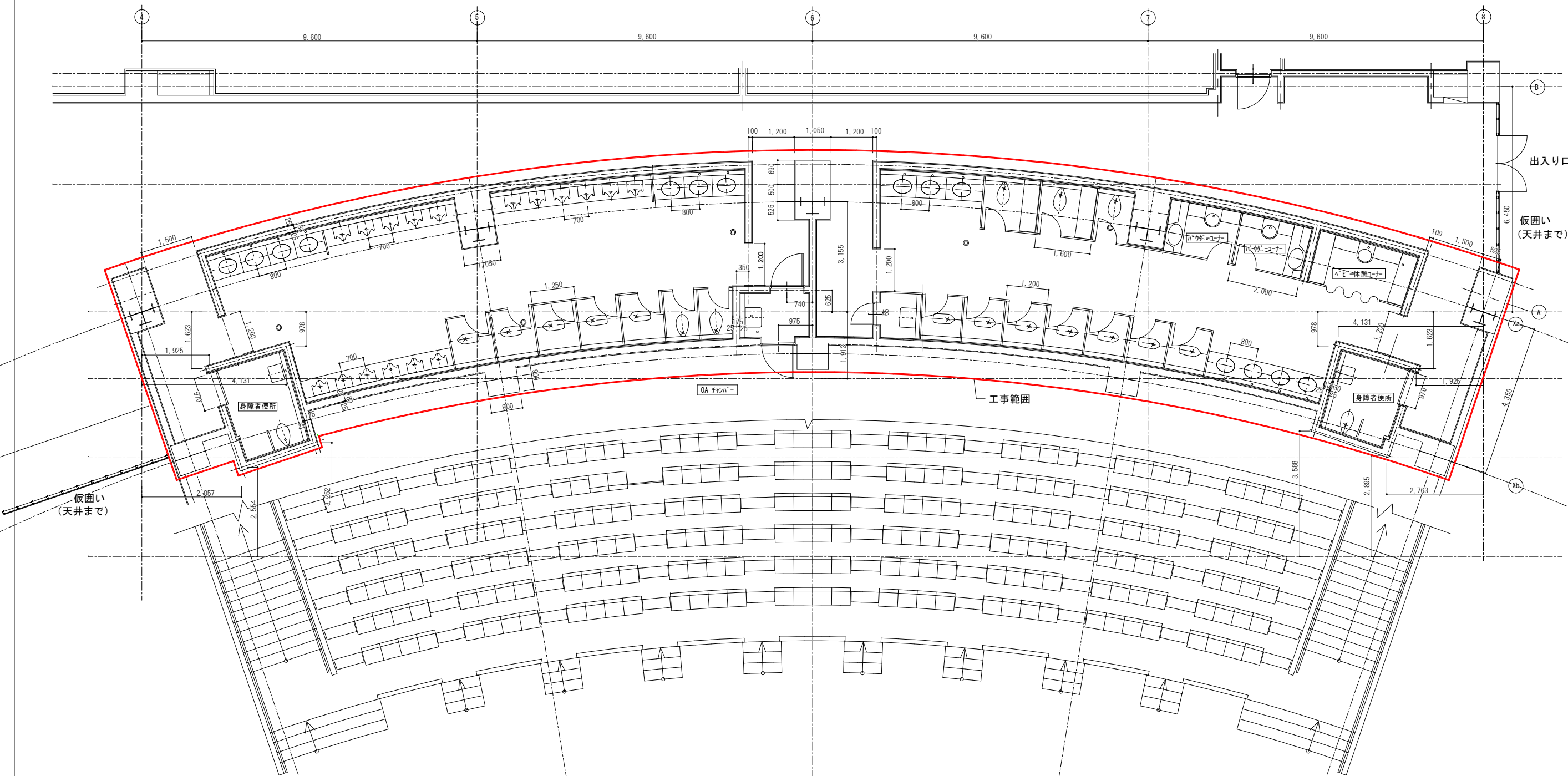


訂正					備考							作成 R7・3・31	承認			工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託			設計No.	図面No.
													発行				図面名称 付近見取図	縮尺 A3	整理No.	A-09



訂正									作成 R7・3・31	承認	工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託	設計No.	図面No. A-10
								発行				整理No.	
											図面名称 配置図	縮尺 A1 1:1000	

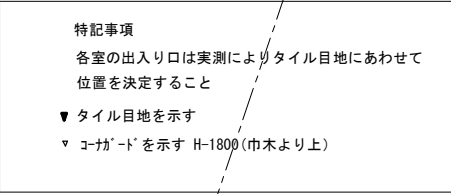


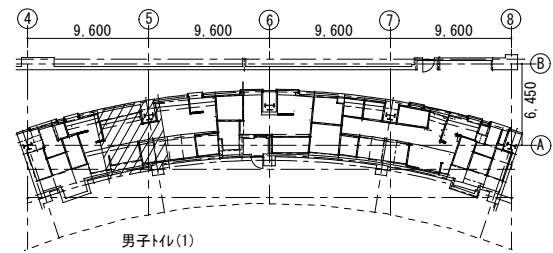
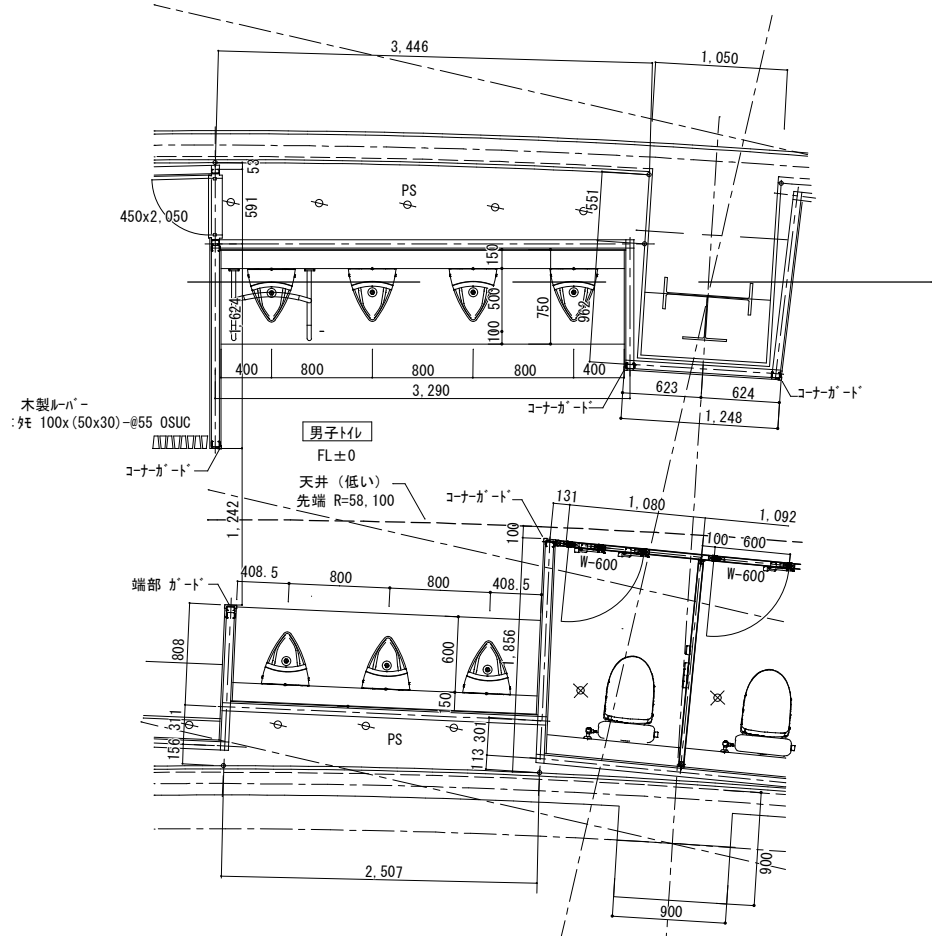
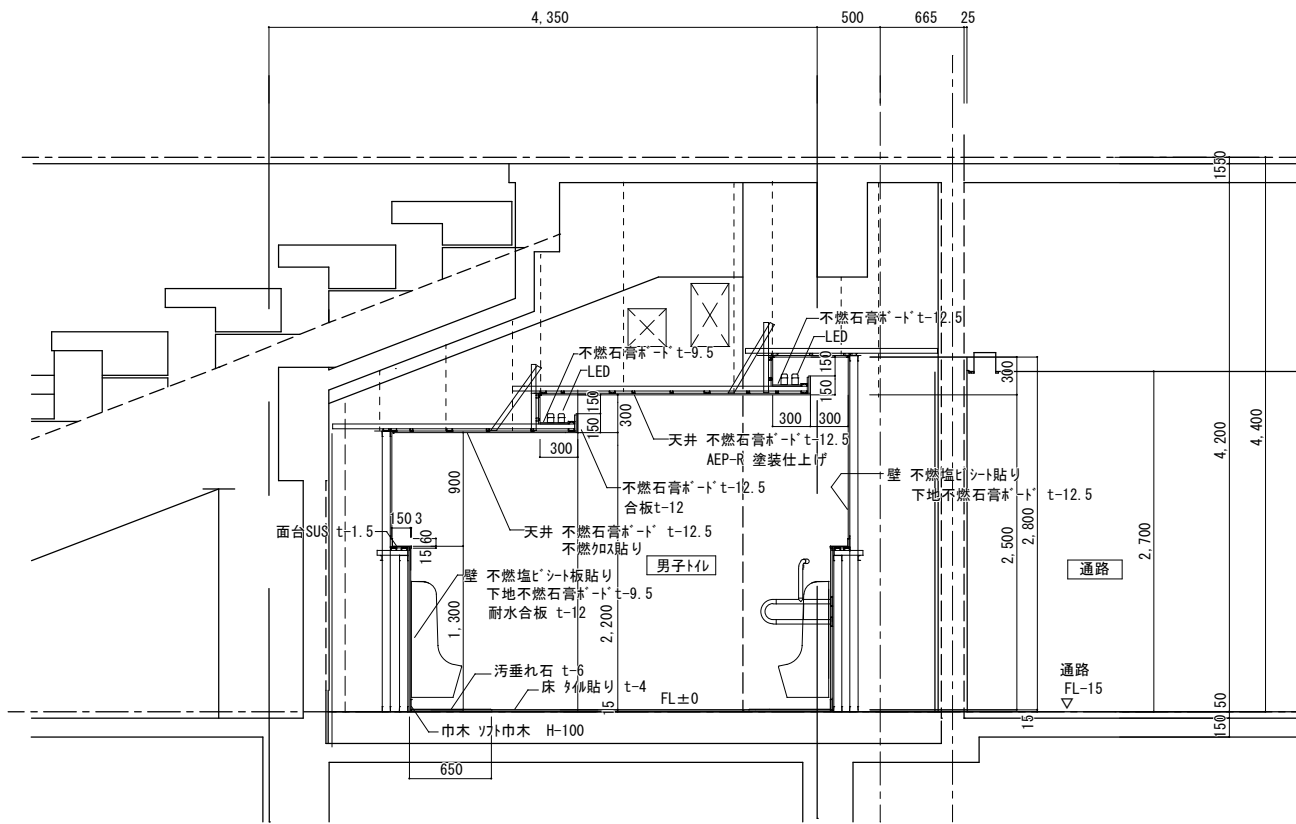


訂正					備考							作成 R7. 3. 31	承認	工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託	設計No.	図面No. A-12	
												発行 .		図面名称 工事範囲図	縮尺 A1 1:60	整理No.	

設 計 概 要						
工 事 名 称	イベントホールトイレ改修工事設計委託					
改修面積	194㎡ <div>床レベル既存床+15mm</div>					
工事概要	建築工事 天井全面撤去、間仕切壁一部撤去 床及び壁は残す					
	電気設備工事 別紙参照					
	機械設備工事 別紙参照					
仕上げ表						
室 名	床	巾 木	腰 壁	天 井	天井高さ	備 考
誰でも トイレ	光触媒タイル貼り t-4 600角	タイル H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	AEP-R 塗装仕上げ 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,200 H-2,800	スクリーン 木製扉バ-:タ 90x30-@90 塗装 (OSUC) スロ-フ 既存との取合い 間接照明 鏡
男子 トイレ	光触媒タイル貼り t-4 600角	タイル H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り (一部 AEP-R 塗装) 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,200 H-2,800	スクリーン 木製扉バ-:タ 90x30-@90 塗装 (OSUC) スロ-フ 既存との取合い 間接照明 フェイカグリーン 鏡 ビット
				低い天井 先端 R=58,100		洗面カウンター人造大理石 ライニング 面台SUS 大便器間仕切 パーティション天井まで(コマン-参照) 小便器 汚垂石 鏡 ビット
女子 トイレ	光触媒タイル貼り t-4 600角	タイル H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り (一部 AEP-R 塗装) 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,200 H-2,800	スクリーン 木製扉バ-:タ 90x30-@90 塗装 (OSUC) スロ-フ 既存との取合い 間接照明 フェイカグリーン 鏡 ビット
				低い天井 先端 R=58,100		洗面カウンター人造大理石 ライニング 面台SUS 大便器間仕切 パーティション天井まで(コマン-参照) ビット
WC-1 2	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500	ライニング 面台SUS 大便器 手洗い器 ベビ-シート ベビ-チェア フィーティングボード ビット
WC-3	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,200	ライニング 面台SUS 大便器 手洗い器 ベビ-シート ベビ-チェア フィーティングボード ビット
WC-4	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,200	ライニング 面台SUS 大便器 ベビ-シート ベビ-チェア フィーティングボード ビット
WC-5 6	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500	ライニング 面台SUS 大便器 手洗い器 ベビ-シート ベビ-チェア フィーティングボード ビット
車椅子用 トイレ 1	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500	ライニング 面台SUS 大便器 手洗い器 ベビ-シート ベビ-チェア フィーティングボード オストメイト ビット
車椅子用 トイレ 2	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500	床高 FL+220 上り框 (2段) 堅木 床下地 構造合板 t-12 パーティクルボード t-20 プラ木レン 下足箱 ビット
男子 シャワ-ルーム	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地強化石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,400	
	不燃複合フローリング t-12					
女子 シャワ-ルーム	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,400	床高 FL+220 上り框 (2段) 堅木 床下地 構造合板 t-12 パーティクルボード t-20 プラ木レン 下足箱 ビット
	不燃複合フローリング t-12					
男子用 収納	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,400	棚 2段
女子用 収納	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,400	棚 2段
男子用 SK	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500	ライニング 面台SUS SK
女子用 SK	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500	ライニング 面台SUS SK
男子脱衣室 1 2 3	不燃複合フローリング t-12	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	岩綿吸音板貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,180	床高 FL+220 シャワ-ユニット 0821 洗面化粧台 脱衣棚 (かご) ビット
女子脱衣室 4 5 6	不燃複合フローリング t-12	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	岩綿吸音板貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,180	床高 FL+220 シャワ-ユニット 0821 洗面化粧台 脱衣棚 (かご) ビット
バ-グ-コーナー	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	AEP-R 塗装仕上げ 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500 H-2,800	カウンター マシン不燃化粧板 鏡 ビット
授乳室	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500	ミニシンク 調乳用温水器 (CH22-4参考) ソファ- ビット
倉 庫	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塩ビシート貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃加工貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500	
通 路(トイレの外)	タイル 貼り (既存)	ソフト巾木 H-100	人造大理石 (既存)	岩綿吸音板貼り (既存)	H-2,700	床高 FL-15
SK (既存)	――	――	――	――		床:クリーニング 壁、天井; 塗装仕上げ 既存部分は表装改修 (塗装、クリーニング等)
注意事項					特記なき限りは下記とすること。	
① 既存イベントホールの改修工事は、本場と開催しながの工事になるため、安全、騒音、振動、ほこりに十分に注意して行う。					① 見え掛りの框、面台はステンレスHL SUS304とする。	
② 出来る限り既存WCは工事中にも利用できるように、工事計画をすること。						
③ 既存の床、壁、天井、設備は再利用や残置利用を図り、環境負荷低減を図ること。						
④ 通路側の床、壁タイルは目地は、既存部分と新設部分は目地分かれにすること。						
⑤ 既存の排水管は床上で接続すること、スラブ下の工事はできる限りしないこと。						
⑥ R C壁の解体及び床アンカー打ちは騒音、振動が大きいため開催中は行わないこと。						
⑦ 仮囲はほこりが工事区画外に飛散ないように仮設壁で、密封し出入は扉を設置すること。						
⑧ 巾木は特記なき限り ソフト巾木H-100とする						
工事工程						
<div><div>着工</div><div>竣工</div><div>8月上旬</div><div>12月上旬</div><div>4 M</div></div>						

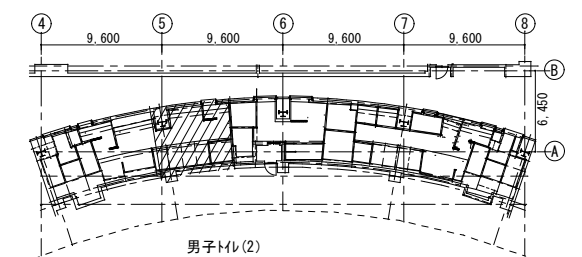
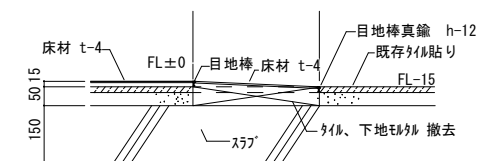
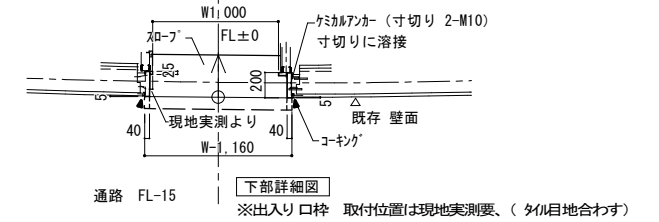
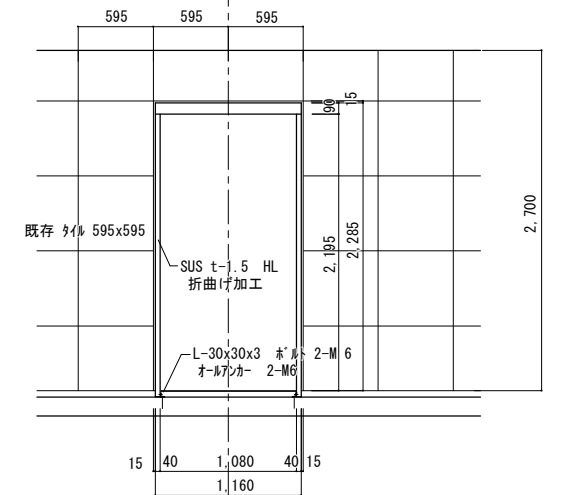
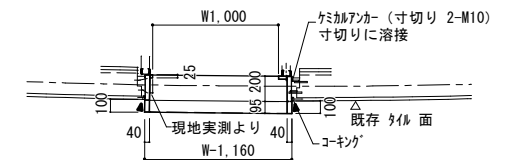
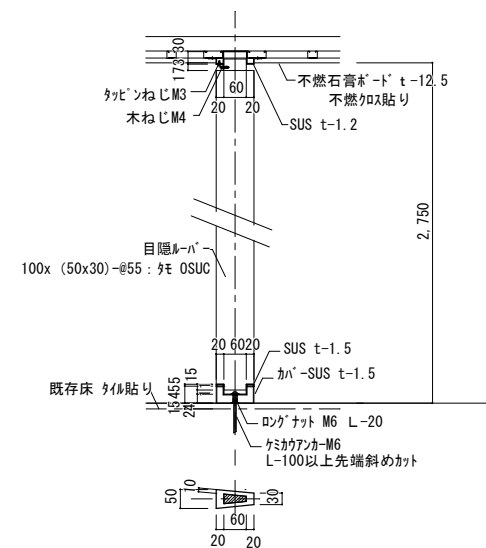
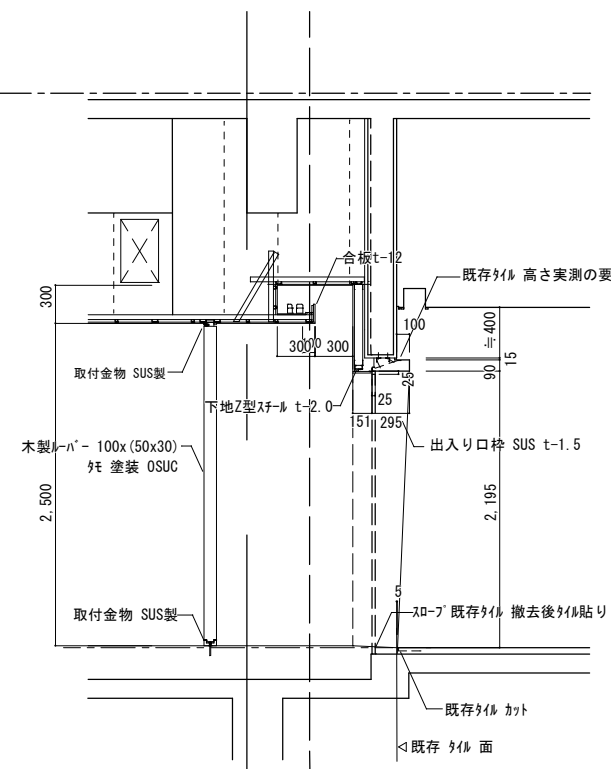
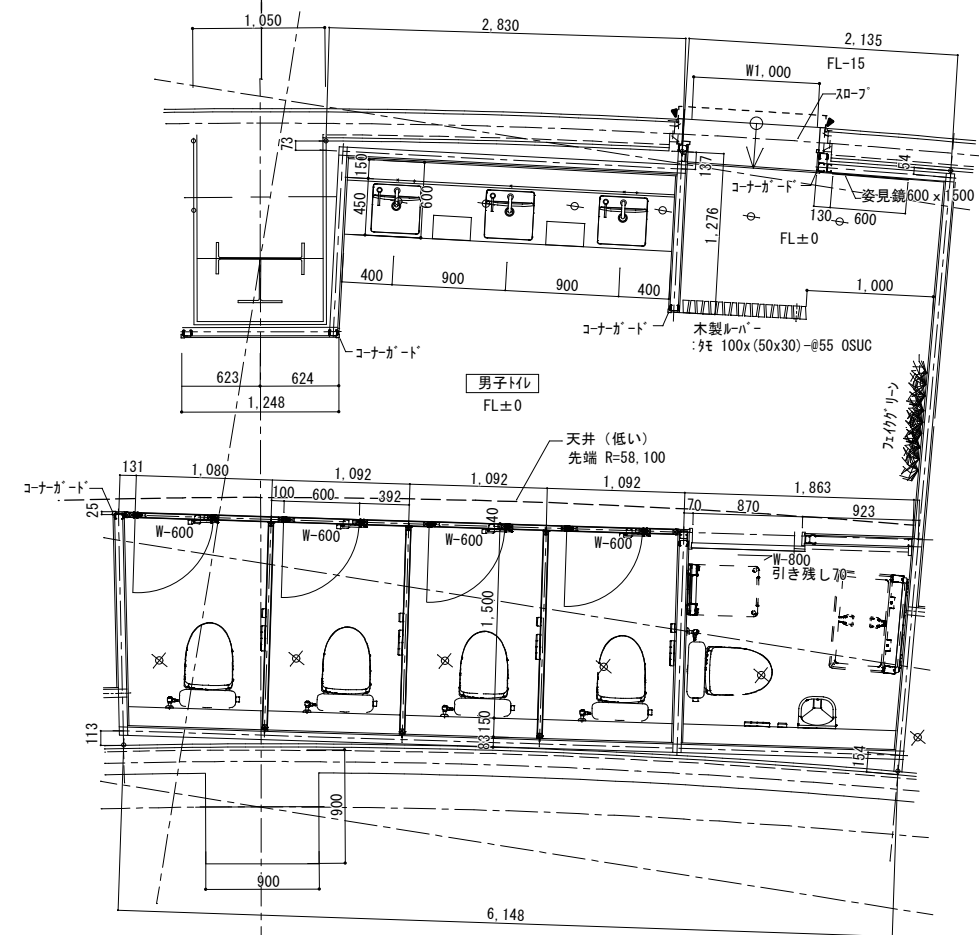
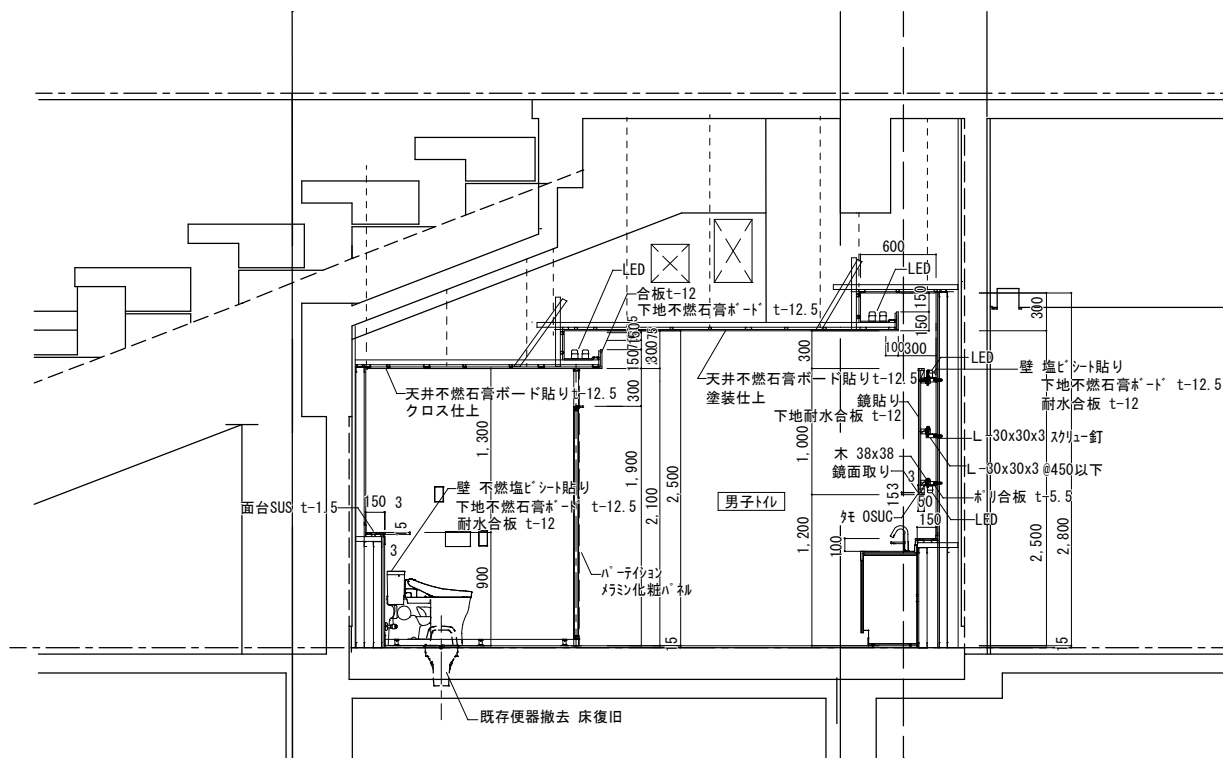
訂正	備考	作成 R7. 3. 31 発行 . .	承認			工事名称 イベントホールトイレ改修工事設計委託	設計No.	図面No. A-13
						整理No.	
					図面名称 設計概要	縮尺 A1 1:50	

[illegible]



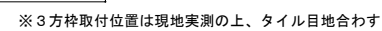
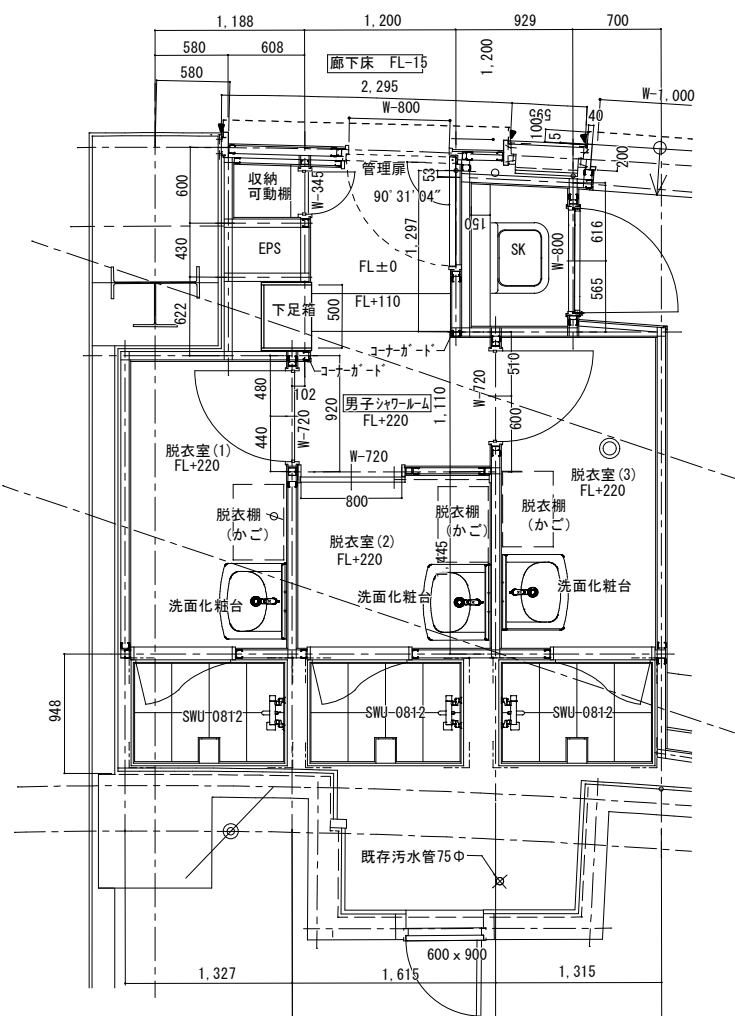
Key Plan

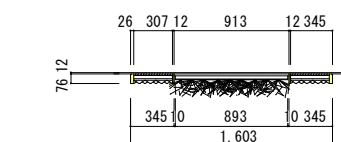
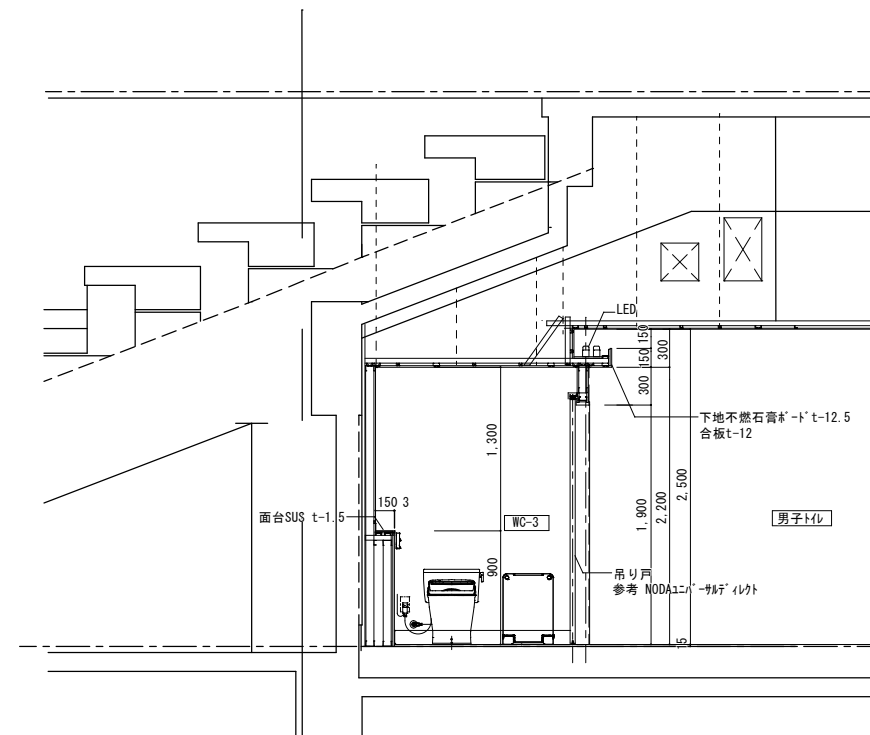
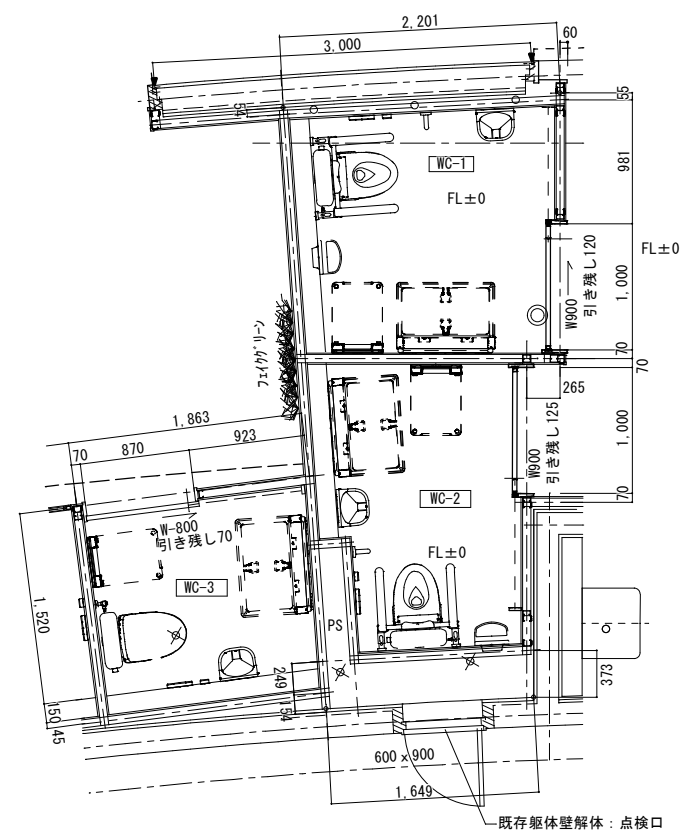
訂正					備考					作成 R7. 3. 31	承認			工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託		設計No.	図面No. A-15
											発行 .				図面名称 断面詳細図 平面詳細図 (1) 男子トイレ(1)	縮尺 A1 1:30	整理No.



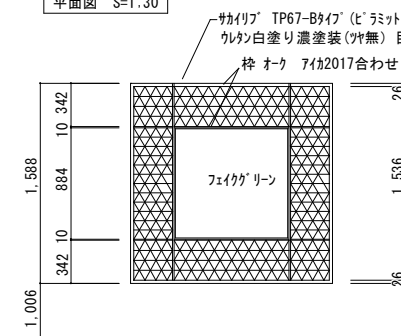
Key Plan

[illegible]

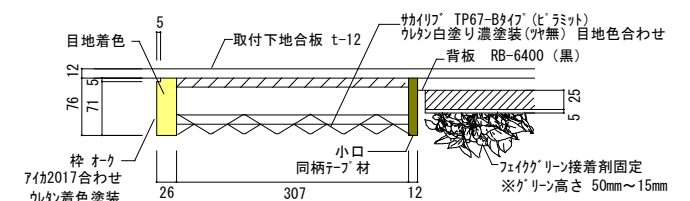




平面図 S=1:30

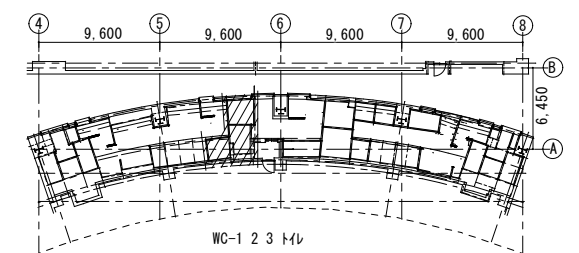


立面图 S=1:5

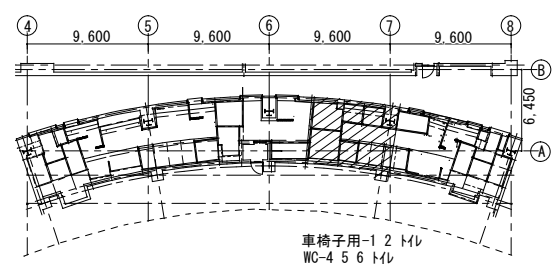
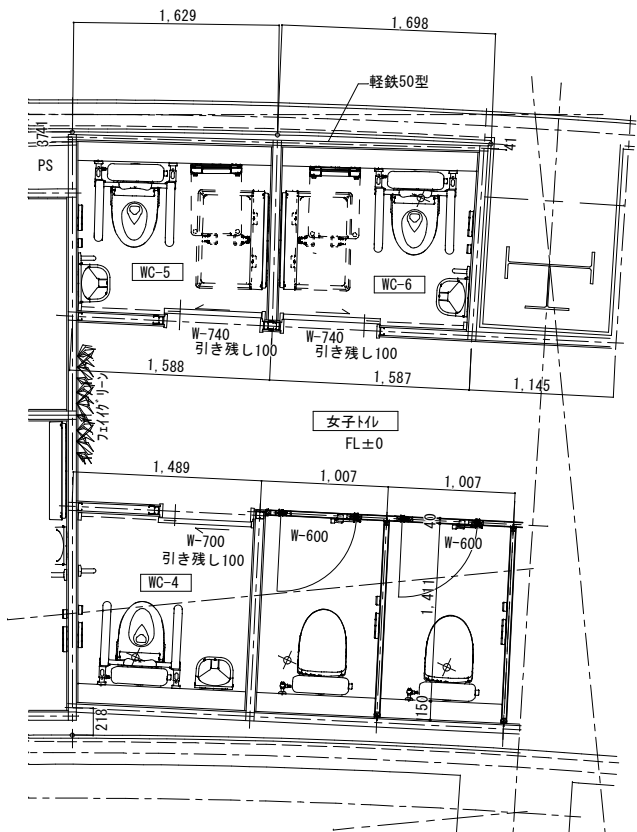
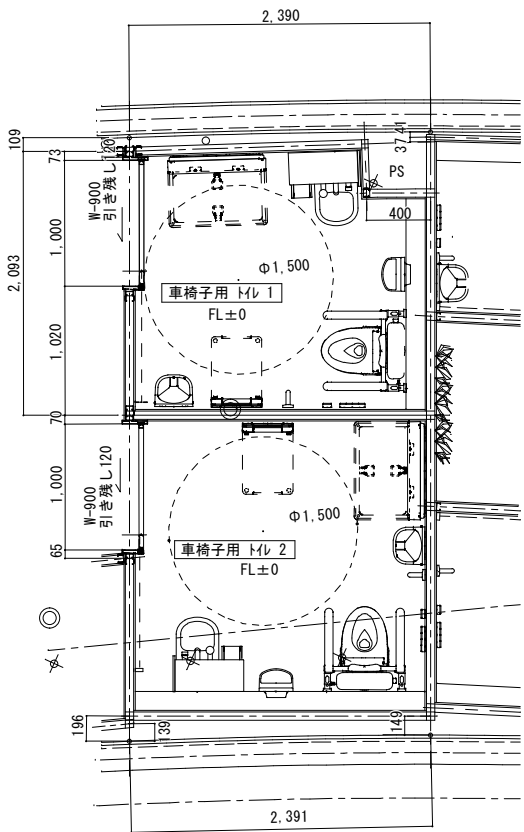
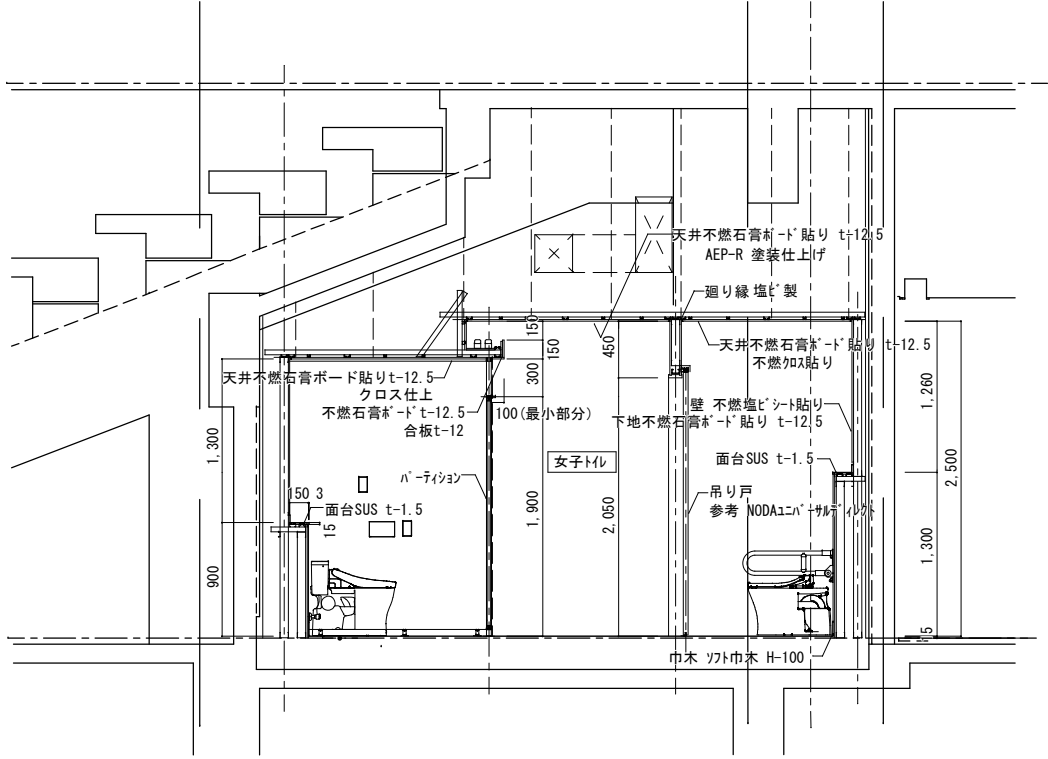
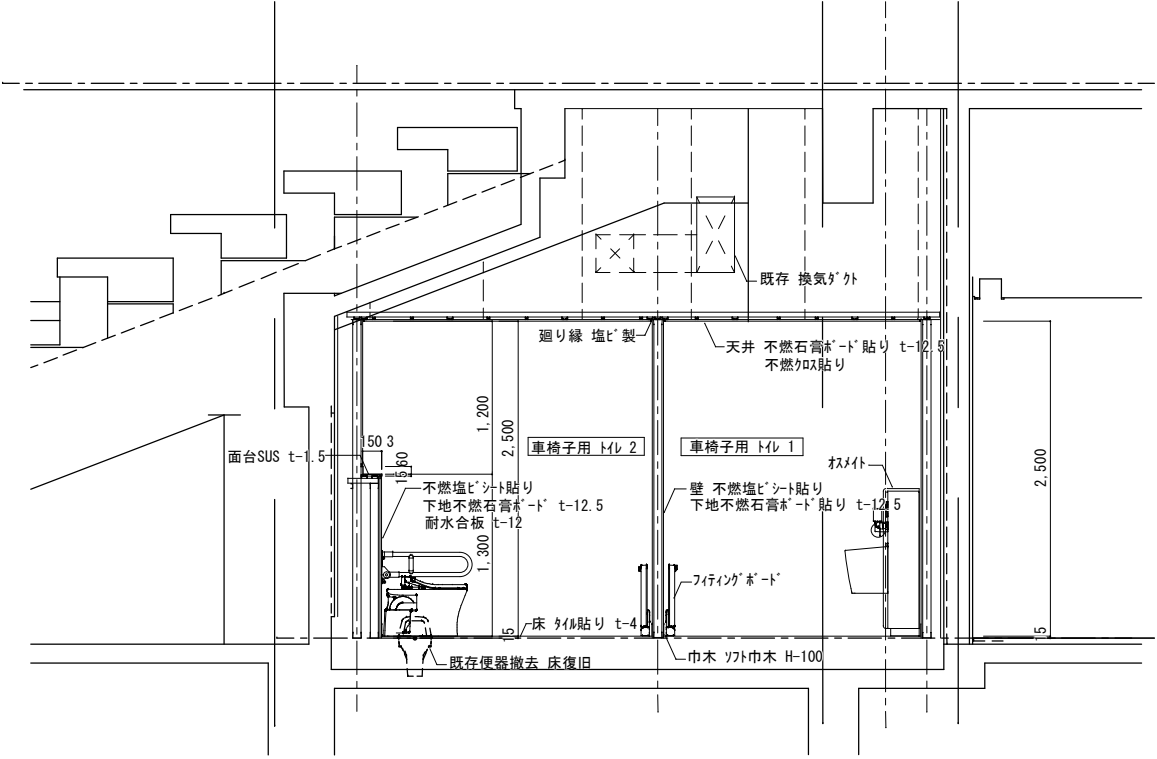


断面詳細図 S=1:5

フェイクグリーン 詳細図



Key Plan



訂正					備考						作成 R7. 3. 31	承認			工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託		設計No.	図面No. A-19
											発行 .				図面名称 断面詳細図 平面詳細図(5) 車椅子用トイレ 1, 2	縮尺 A1 1:30	整理No.	